

第4章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

（チェックリスト該当者調査結果）

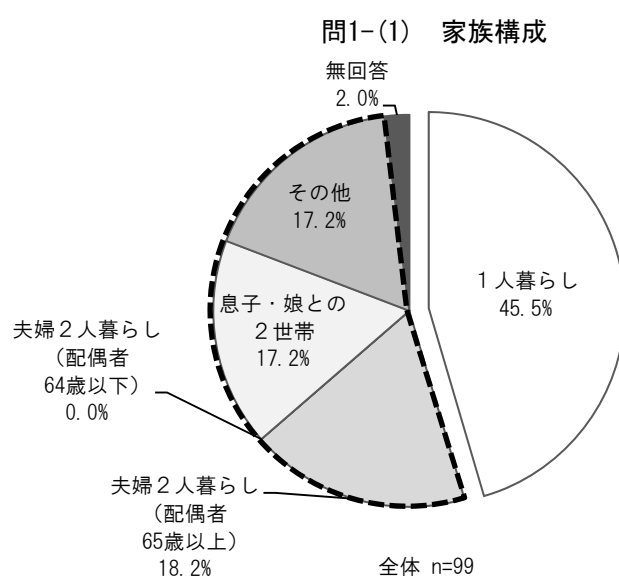
第4章 チェックリスト該当者※調査結果

1 あなたのご家族や生活状況について

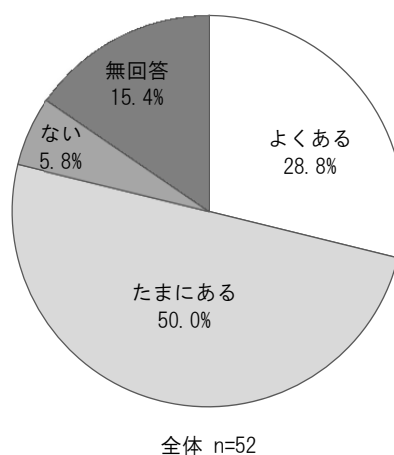
(1) 家族構成及び日中独居者の状況

○チェックリスト該当者※の家族構成をみると、「1人暮らし」(45.5%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」(18.2%)、「息子・娘との2世帯」(17.2%)となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」(50.0%)が最も高く、「よくある」(28.8%)を合わせた約8割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。



問1-(1).① 日中、1人になることの有無



※一般高齢者のうち、窓口でのチェックリストに該当し総合事業のサービスを受けている方を称しています。

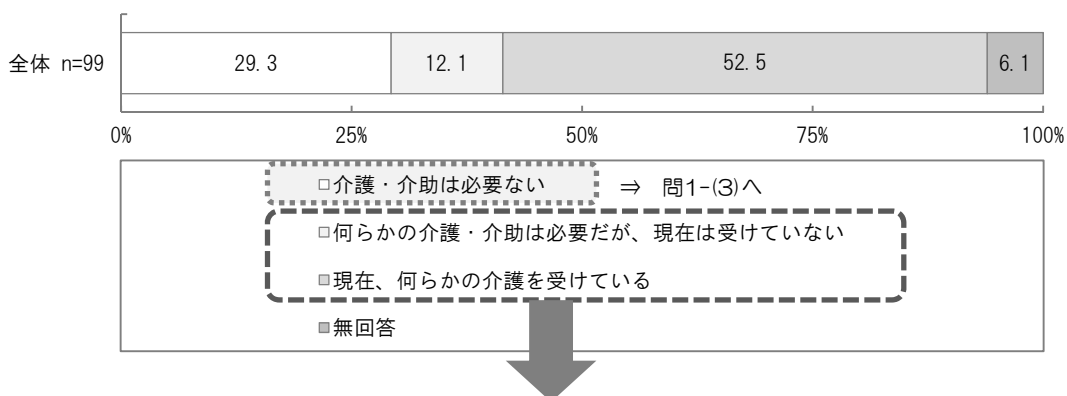
（２）日常生活における介護（介助）の状況

○チェックリスト該当者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」（52.5％）が最も高くなっています。

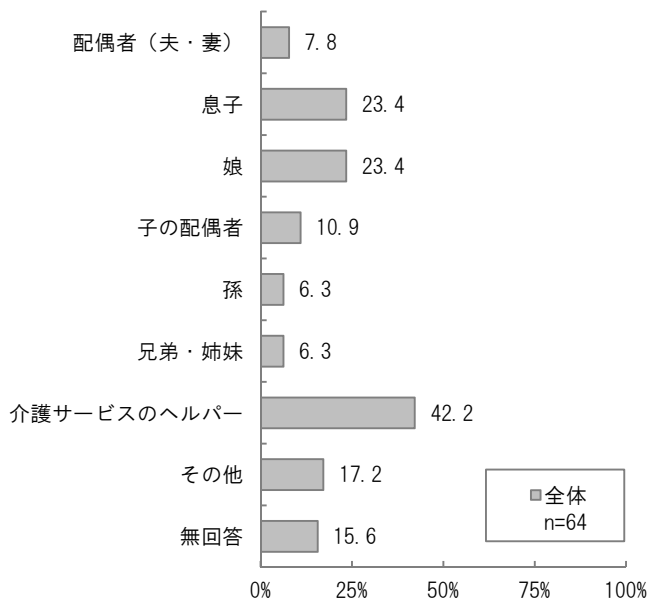
○介護、介助をしてくれる人は、「介護サービスのヘルパー」（42.2％）が最も高く、次いで「息子」「娘」（各 23.4％）、「子の配偶者」（10.9％）の順となっています。

○介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（28.1％）が最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」（20.3％）、「心臓病」（15.6％）、「骨折・転倒」「脊椎損傷」（各 12.5％）の順となっています。

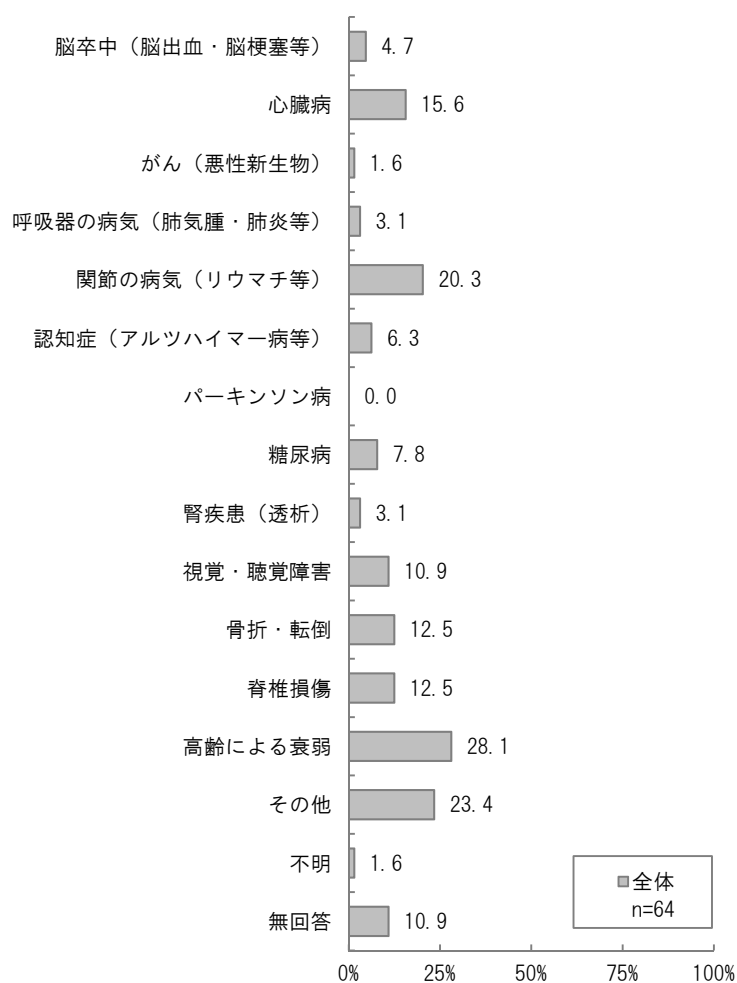
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護、介助をしてくれる人



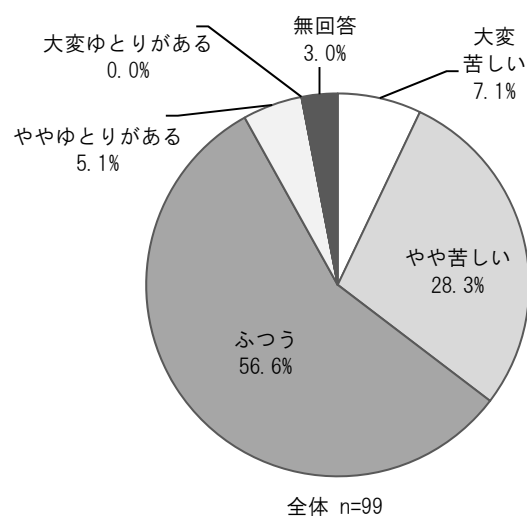
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○チェックリスト該当者の現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（56.6%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（28.3%）、「大変苦しい」（7.1%）の順となっています。

問1-(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて

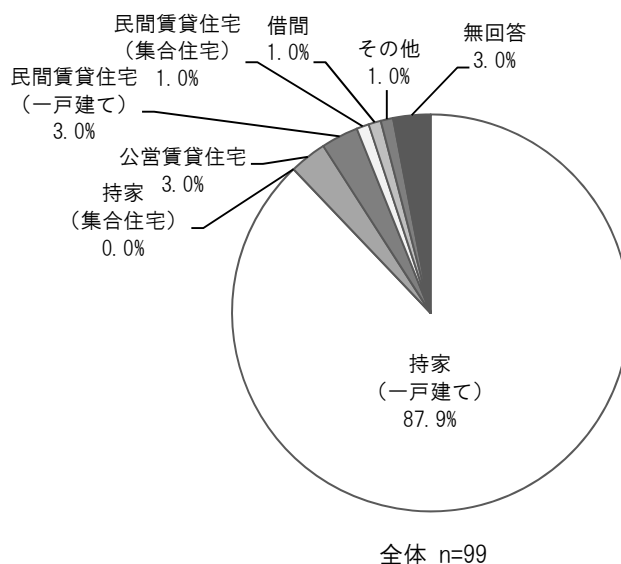


(4) 現在の居住環境

○チェックリスト該当者が現在の暮らしている家の状況を見ると、「持家（一戸建て）」（87.9%）が最も高くなっています。

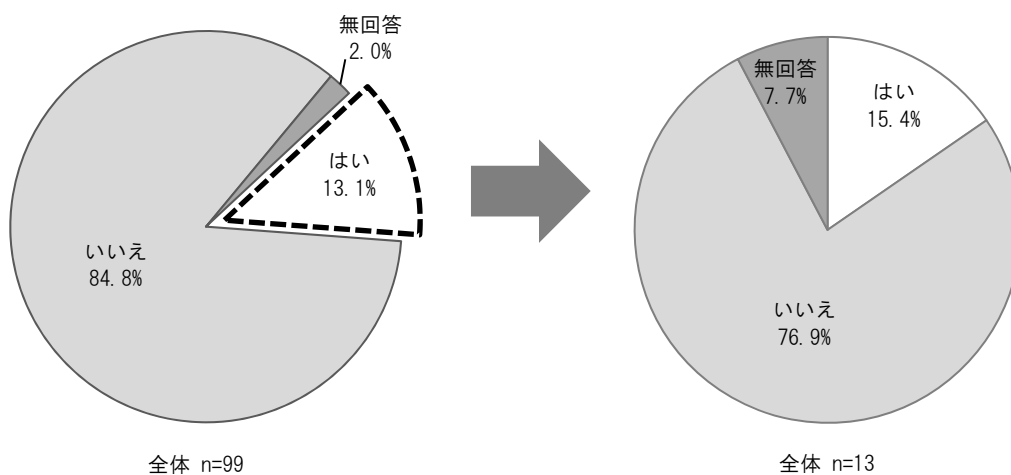
○居住環境（部屋）が2階以上であると回答した方は13.1%となっており、そのうち76.9%はエレベーターが未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

図1-(5).① エレベーター設置の有無



2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

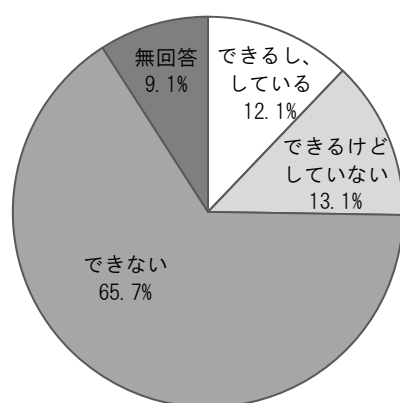
○チェックリスト該当者の階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できない」方は65.7%となっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できない」方は48.5%となっています。

○15分位続けて歩くことができるかでは、「できない」方は47.5%となっています。

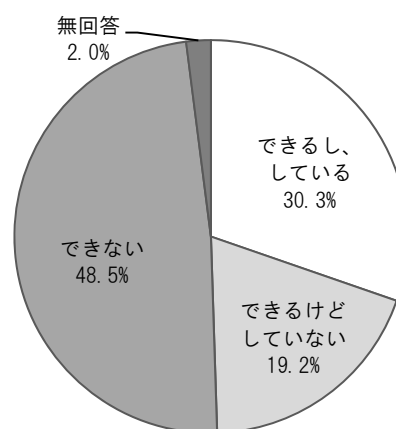
○過去1年間に転んだ経験の有無では、「何度もある」(20.2%)と「1度ある」(28.3%)を合わせた48.5%の方が転んだ経験があると回答しています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに
昇ることができるか



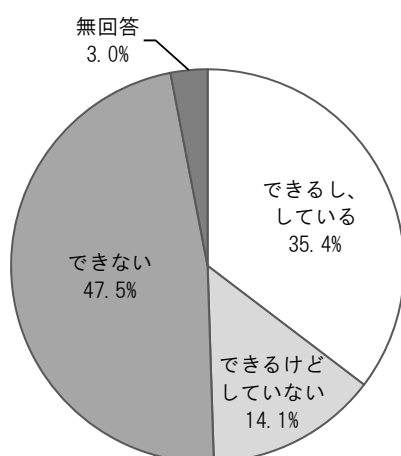
全体 n=99

問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



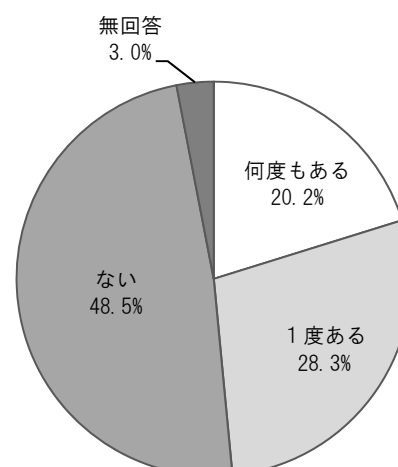
全体 n=99

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



全体 n=99

問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



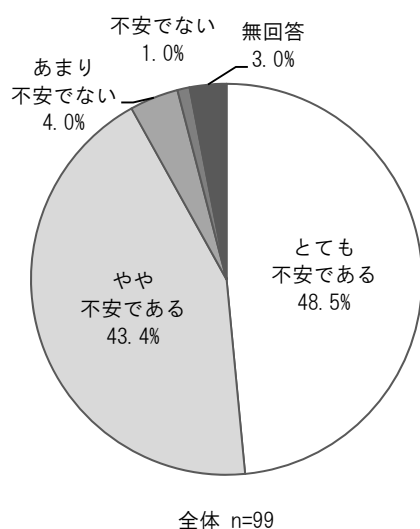
全体 n=99

○チェックリスト該当者の転倒に対する不安の有無では、「とても不安である」(48.5%)と「やや不安である」(43.4%)を合わせた 91.9%の方が不安を感じています。

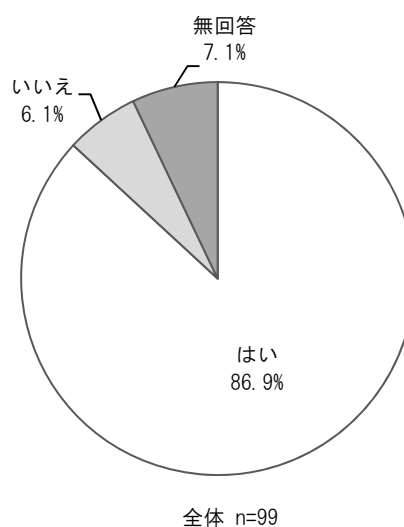
○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかでは、「はい」の方が 86.9%となっています。

○杖やシルバーカーの使用の有無では、「はい」方が 48.5%となっています。

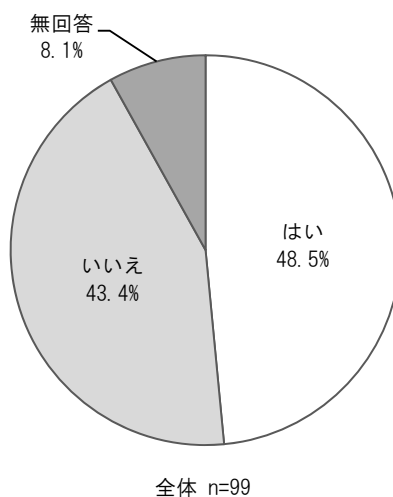
問2-(5) 転倒に対する不安の有無



問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



問2-(12) 杖やシルバーカーの使用の有無

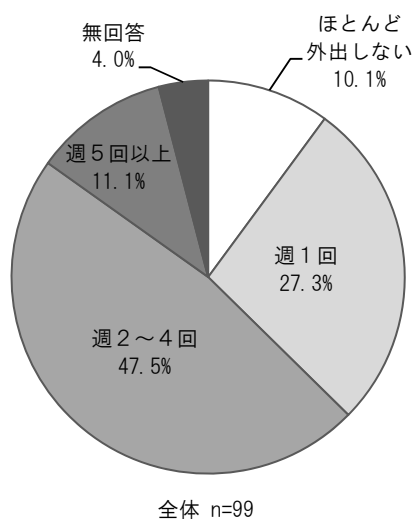


(2) 外出の状況

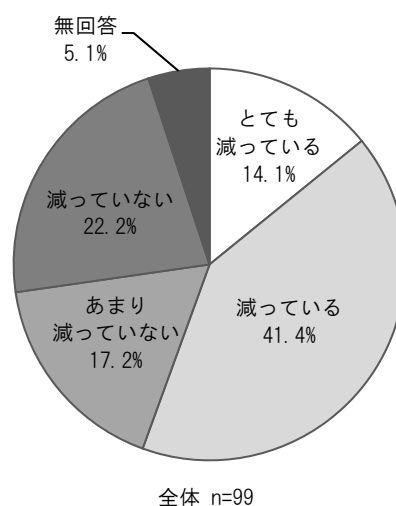
○チェックリスト該当者において、外出が週1回以下と回答した方は、「週1回」(27.3%)と「ほとんど外出しない」(10.1%)を合わせた37.4%となっています。

○昨年と比べた外出の頻度は、「減っている」(41.4%)と「とても減っている」(14.1%)を合わせた55.5%の方が減っていると回答しています。

問2-(6) 週に1回以上の外出の有無



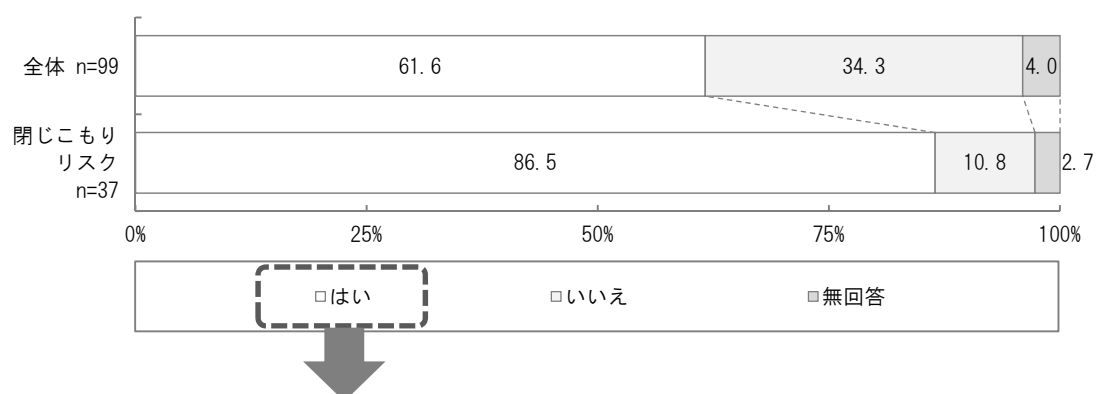
問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度



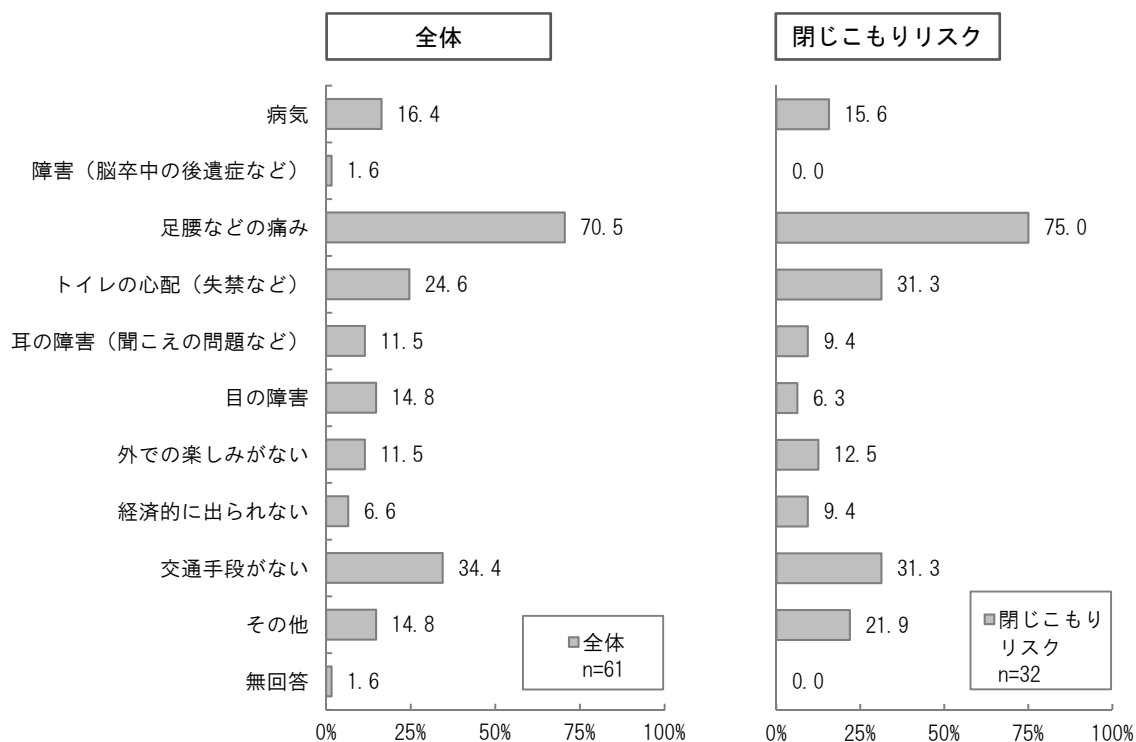
○チェックリスト該当者が外出を控えているかをみると、全体では61.6%の方が外出を控えていると回答しています。一方、閉じこもりリスク者では86.5%と前者よりも24.9^{ポイント}上回っています。

○外出を控えている理由は、両者ともに「足腰などの痛み」（70.5%・75.0%）が最も高く、次いで全体では「交通手段がない」（34.4%）、「トイレの心配（失禁など）」（24.6%・31.3%）、「病気」（16.4%）、「目の障害」（14.8%）、「外での楽しみがない」「耳の障害（聞こえの問題など）」（各 11.5%）の順となっており、閉じこもりリスク者では「交通手段がない」「トイレの心配（失禁など）」（各 31.3%）、「病気」（15.6%）、「外での楽しみがない」（12.5%）、「耳の障害（聞こえの問題など）」（9.4%）の順となっています。

問2-(8) 外出を控えているか（×「閉じこもりリスク者」）

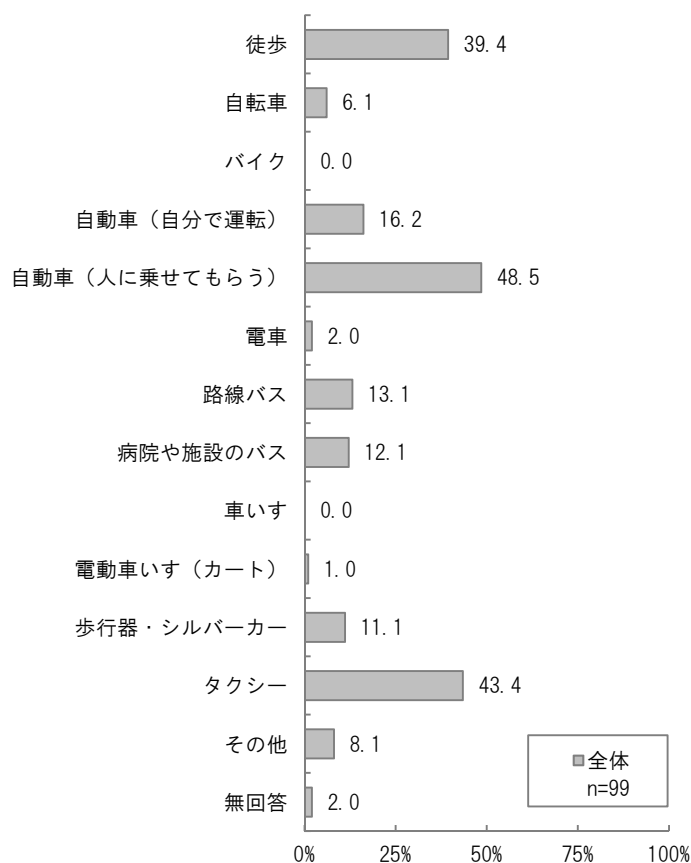


問2-(8).① 外出を控えている理由（×「閉じこもりリスク者」）



○チェックリスト該当者の外出する際の移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」（48.5%）が最も高く、次いで「タクシー」（43.4%）、「徒歩」（39.4%）、「自動車（自分で運転）」（16.2%）、「路線バス」（13.1%）、「病院や施設のバス」（12.1%）、「歩行器・シルバーカー」（11.1%）の順となっています。

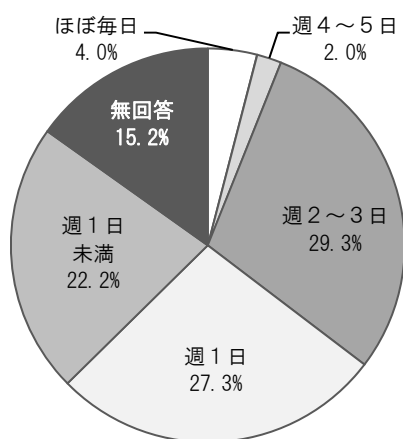
問2-(9) 外出する際の移動手段



○チェックリスト該当者が買物で外出する頻度は、「週2～3日」(29.3%)が最も高く、次いで「週1日」(27.3%)、「週1日未満」(22.2%)の順となっています。

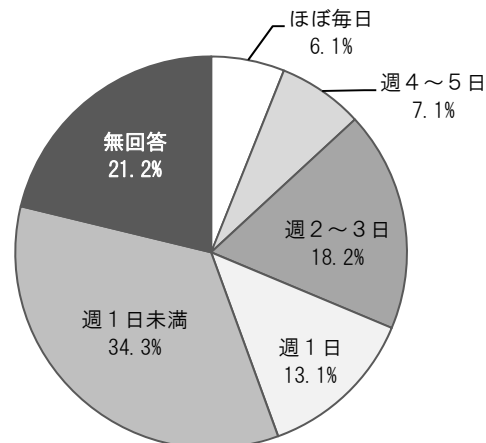
○また、散歩で外出する頻度は、「週1日未満」(34.3%)が最も高く、次いで「週2～3日」(18.2%)、「週1日」(13.1%)の順となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度



全体 n=99

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



全体 n=99

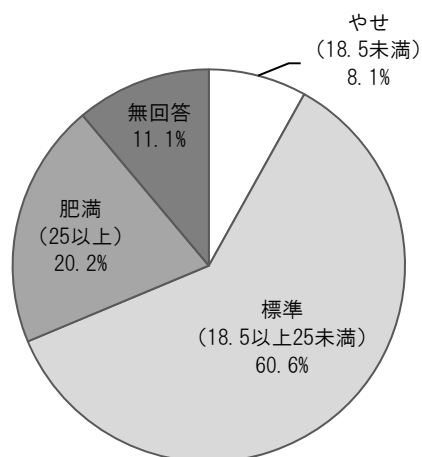
3 食べることにについて

(1) 現在の肥満状況

○チェックリスト該当者の肥満状況をBMI指数でみると、「やせ(18.5未満)」の方が8.1%となっています。

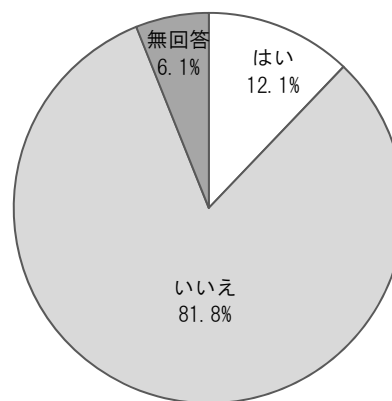
○6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無では、12.1%の方が減少したと回答しています。

問3-(1) BMI指数



全体 n=99

問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無



全体 n=99

(2) 歯・口腔の状況

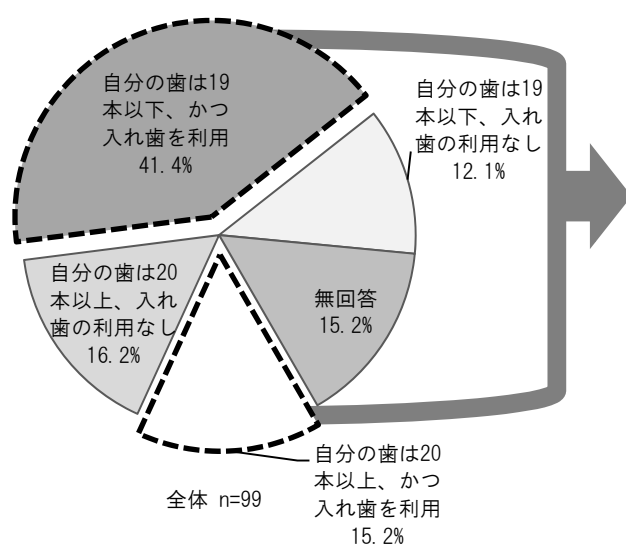
○チェックリスト該当者の歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(41.4%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.2%)と回答した方を合わせた56.6%となっています。

○また、入れ歯利用者のうち85.7%の方が、毎日手入れをしていると回答しています。

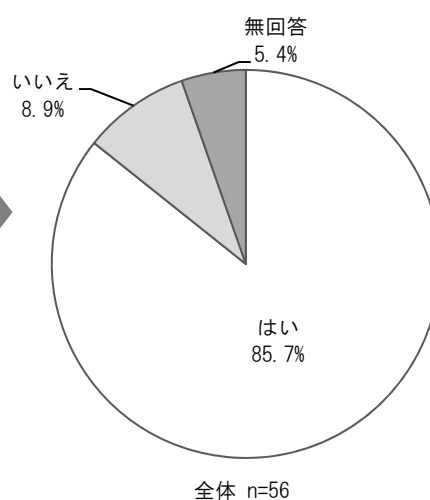
○噛み合わせは、58.6%の方が良いと回答しています。

○歯磨きを毎日していると回答した方は、85.9%となっています。

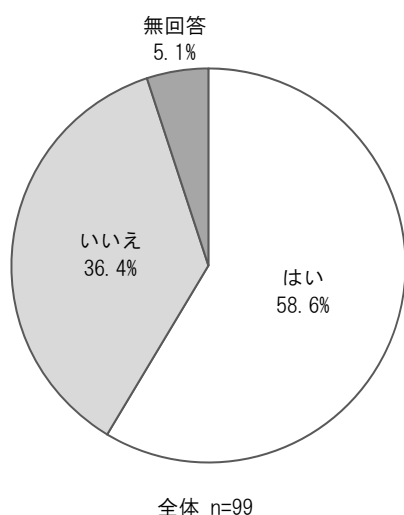
問 3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



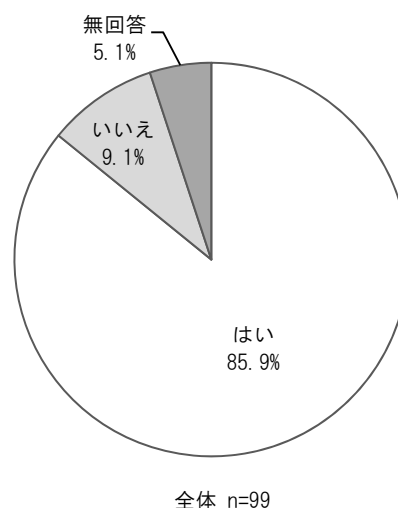
問 3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問 3-(3).② 噛み合わせは良いか



問 3-(7) 歯磨きを毎日しているか

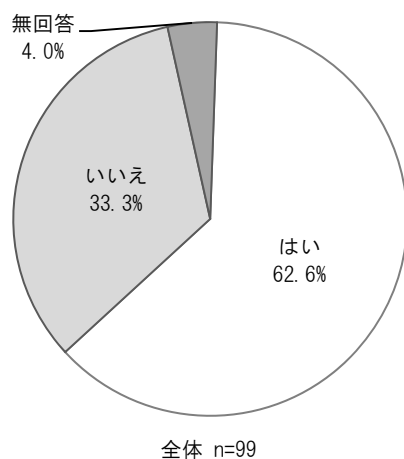


○チェックリスト該当者で半年前に比べて固いものが食べにくくなったと回答した方は、「はい」の方が62.6%となっています。

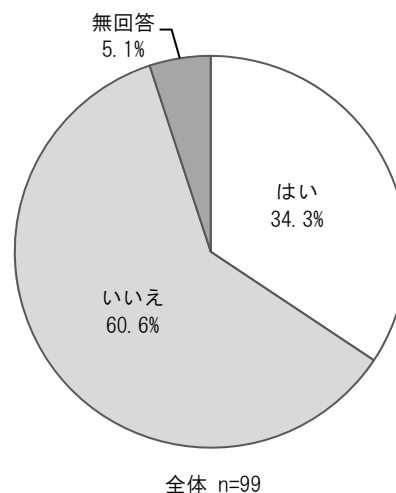
○お茶や汁物等でむせることの有無では、34.3%の方があると回答しています。

○口の渇きが気になるかを回答した方は、46.5%となっています。

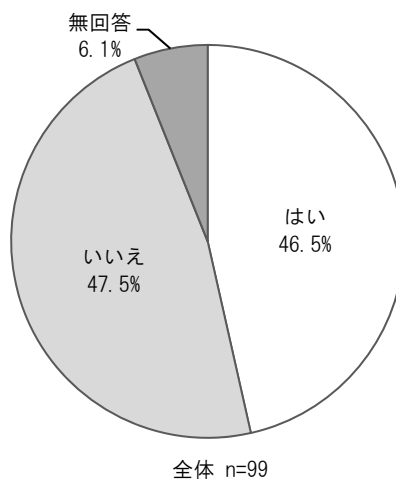
問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった



問3-(5) お茶や汁物等でむせることの有無



問3-(6) 口の渇きが気になるか



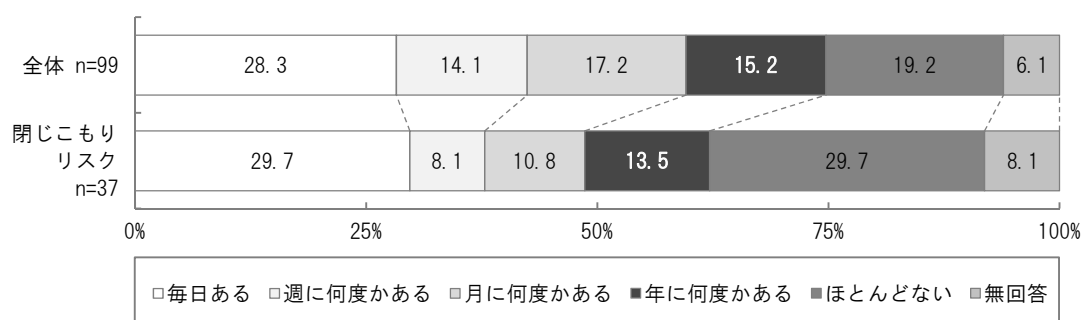
(3) 食事の状況

○チェックリスト該当者のどなたかと食事をとにもする機会の有無をみると、全体では「毎日ある」(28.3%)が最も高くなっており、閉じこもりリスク者では「毎日ある」「ほとんどない」(各29.7%)が最も高くなっています。全体の「ほとんどない」が19.2%に対し、閉じこもりリスク者は29.7%となっており、10.5ポイント上回っています。

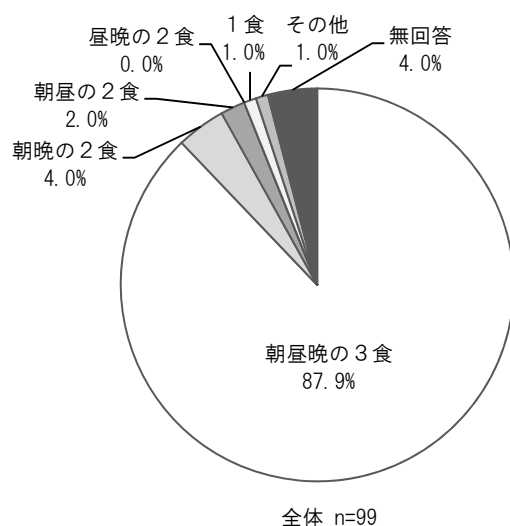
○チェックリスト該当者の1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(87.9%)が最も高くなっています。

○食事は自分で食べられると回答した方は、「できる」(96.0%)となっています。

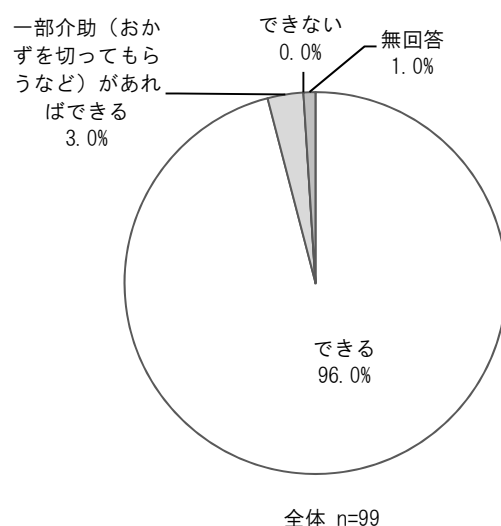
問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会の有無 (×「閉じこもりリスク者」)



問3-(9) 1日の食事の回数

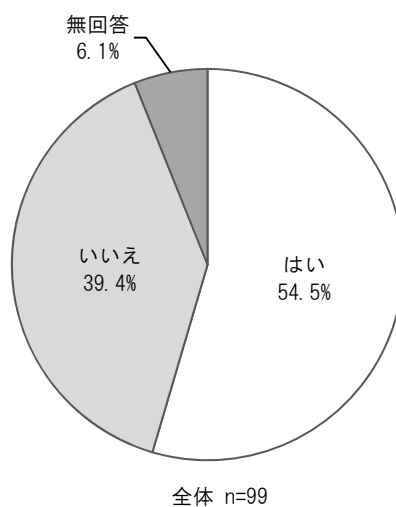


問4-(22) 食事は自分で食べられるか



○チェックリスト該当者で家事全般ができていないと回答した方は、39.4%となっています。

問4-(23) 家事全般ができているか



4 毎日の生活について

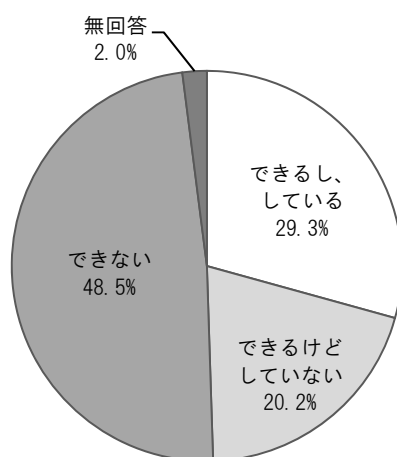
(1) IADL（手段的自立度）の状況

○チェックリスト該当者がバスや電車を使って1人で外出しているかをみると、「できない」方が48.5%となっています。

○自分で食品・日用品の買物をしているかをみると、「できない」方が30.3%、「できるけどしていない」方が17.2%となっています。

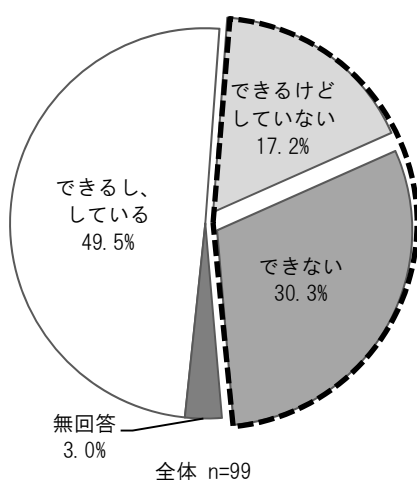
○食品・日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」(59.6%)が最も高く、次いで「ヘルパー」(17.0%)の順となっています。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



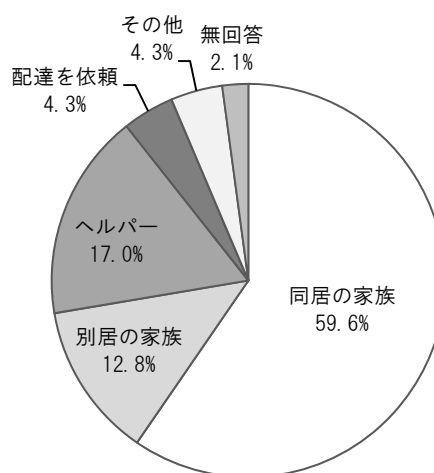
全体 n=99

問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



全体 n=99

問4-(3).① 食品・日用品の買物をする人



全体 n=47

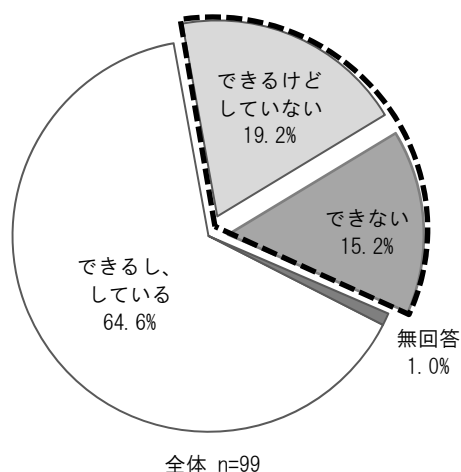
○チェックリスト該当者が自分で食事の用意をしているかをみると、「できない」方が15.2%、「できるけどしていない」方が19.2%となっています。

○食事の用意をする人をみると、「同居の家族」(79.4%)が最も高くなっています。

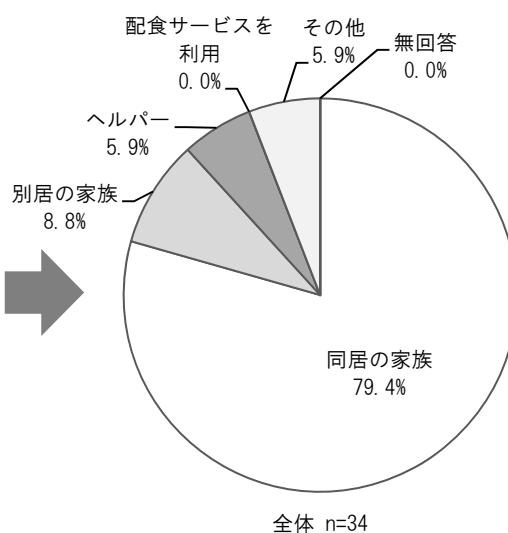
○自分で請求書の支払いができないと回答した方は、9.1%となっています。

○自分で預貯金のおし入れができないと回答した方は、13.1%となっています。

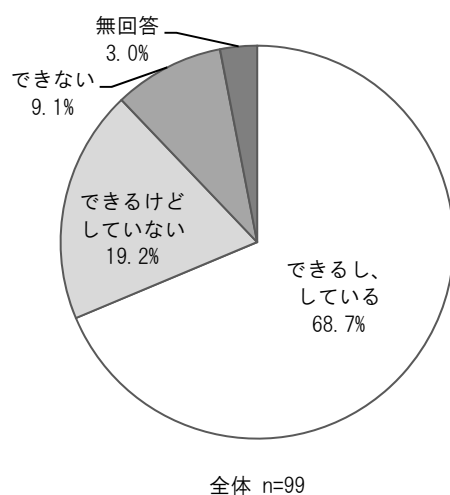
問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



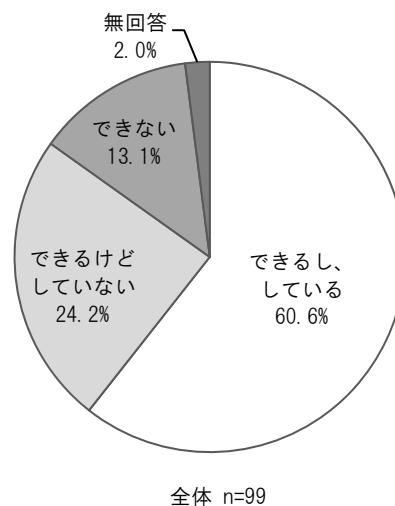
問4-(4).① 食事の用意をする人



問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか

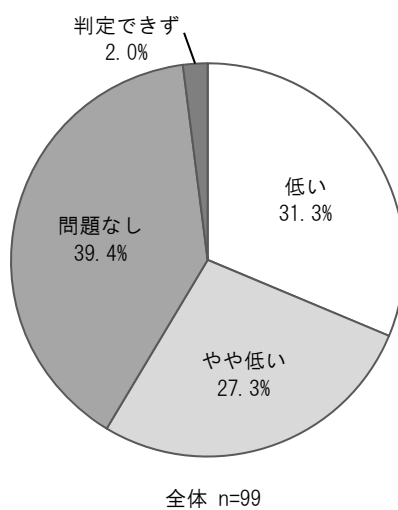


問4-(6) 自分で預貯金のおし入れをしているか



○ IADL（手段的自立度）の低下該当状況をみると、「問題なし」（39.4%）が最も高く、次いで「やや低い」（27.3%）、「低い」（31.3%）となっています。

IADL（手段的自立度）の低下該当状況



（２）社会参加（知的能動性）の状況

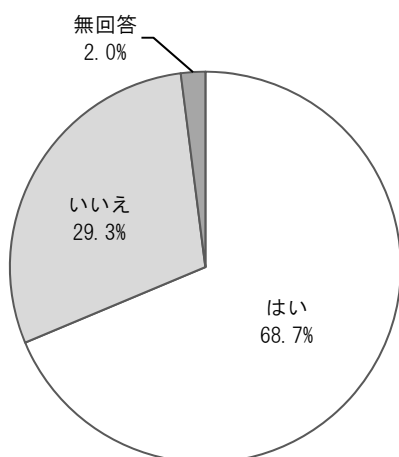
○チェックリスト該当者で年金などの書類が書けないと回答した方は、29.3%となっています。

○新聞を読んでいないと回答した方は、23.2%となっています。

○本や雑誌を読んでいないと回答した方は、「いいえ」の方が44.4%となっています。

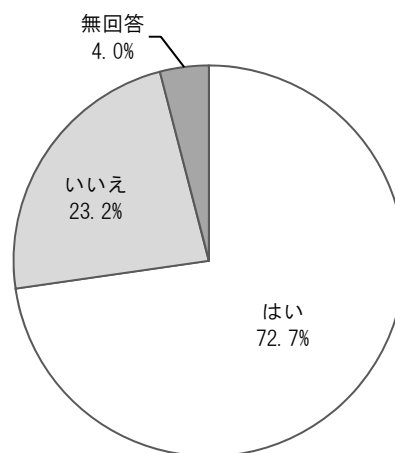
○健康についての記事や番組に関心があるかをみると、「いいえ」の方が16.2%となっています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



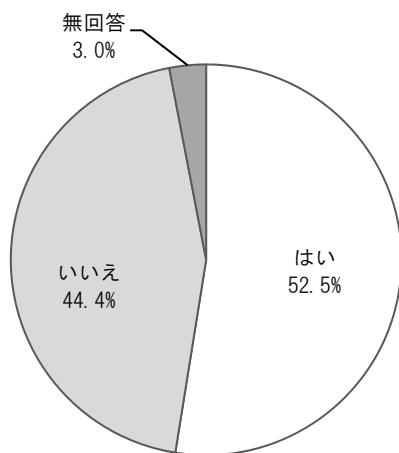
全体 n=99

問4-(10) 新聞を読んでいるか



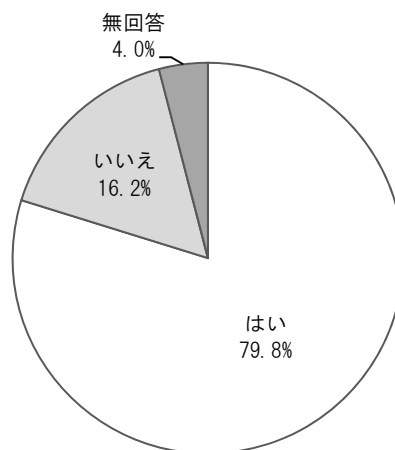
全体 n=99

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



全体 n=99

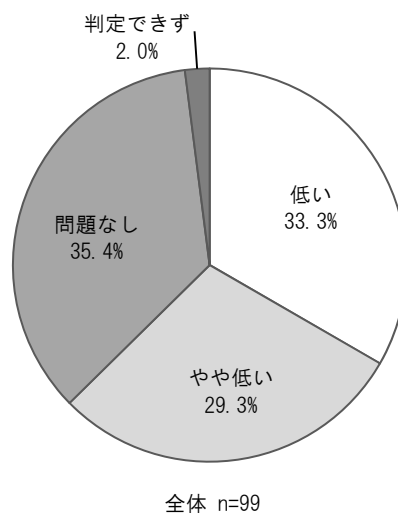
問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



全体 n=99

○知的能動性の低下該当状況をみると、「問題なし」(35.4%)が最も高く、次いで「やや低い」(29.3%)、「低い」(33.3%)となっています。

知的能動性の低下該当状況



(3) 社会参加（社会的役割）の状況

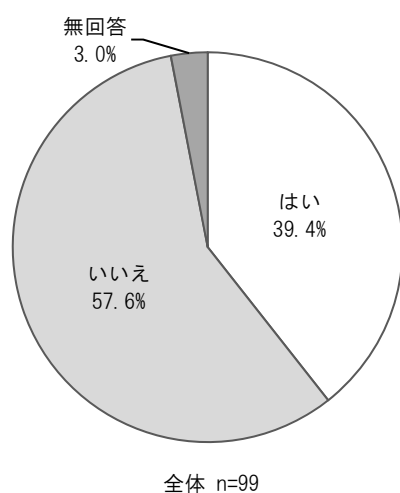
○チェックリスト該当者で友人の家を訪ねていないと回答した方は、57.6%となっています。

○家族や友人の相談にのっていないと回答した方は、41.4%となっています。

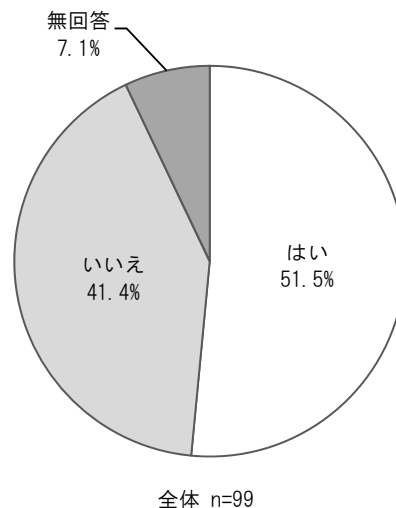
○病人を見舞うことができないと回答した方は、44.4%となっています。

○若い人に自分から話しかけることはないと回答した方は、33.3%となっています。

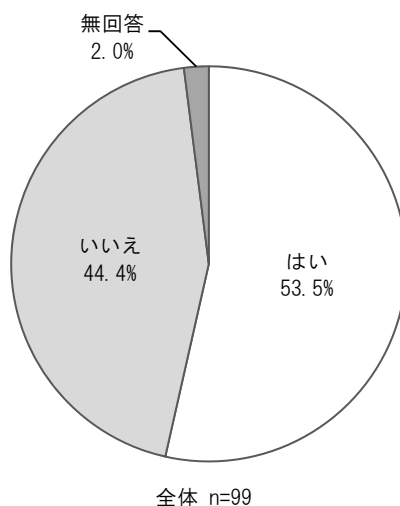
問4-(13) 友人の家を訪ねているか



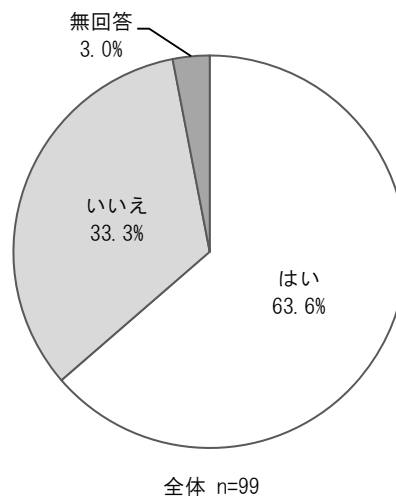
問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか



問4-(15) 病人を見舞うことができるか

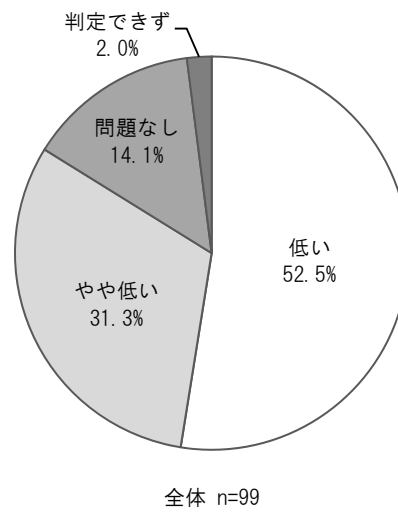


問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



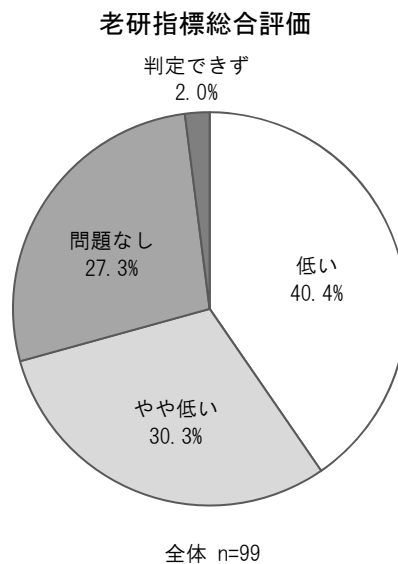
○社会的役割の低下該当状況をみると、「低い」(52.5%)が最も高く、次いで「やや低い」(31.3%)、「問題なし」(14.1%)となっています。

社会的役割の低下該当状況



（４）老研指標総合評価

○ I ADL（手段的自立度）、知的能動性、社会的役割の低下状況を老研指標総合評価で見ると、「問題なし」の方が27.3%となっており、「低い」(40.4%)、「やや低い」(30.3%)を合わせた約7割の方が低下状況にあります。

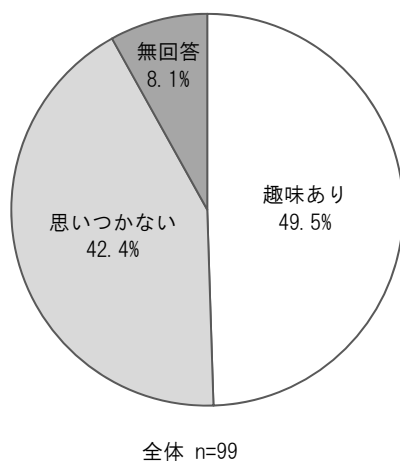


（５）こころの健康状態

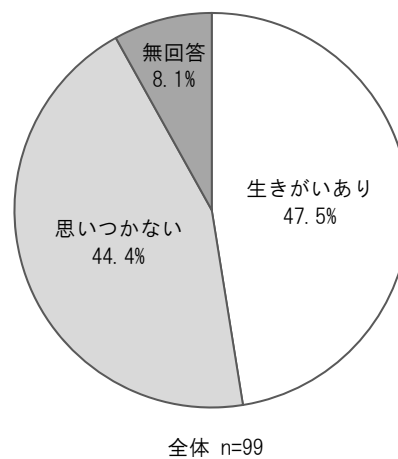
○チェックリスト該当者の趣味の有無をみると、49.5%の方が有ると回答しています。

○生きがいの有無をみると、47.5%の方が有ると回答しています。

問 4-(17) 趣味はあるか



問 4-(18) 生きがいはあるか



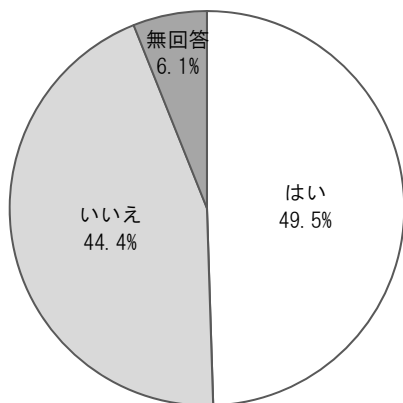
○この1か月間、気分が沈んだりすることがあると回答した方は、49.5%となっています。

○この1か月間、物事に対して心から楽しめないと回答した方は、42.4%となっています。

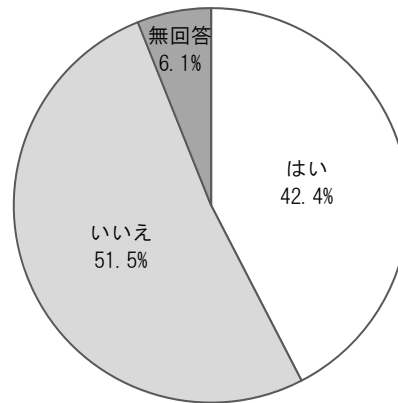
○現在の主観的幸福感では、「5点」(25.3%)が最も高く、次いで「8点」(15.2%)、「(とても幸せ) 10点」(12.1%)、「9点」「6点」(各 11.1%)の順となっています。また、平均点数は6.7点となっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする

問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない

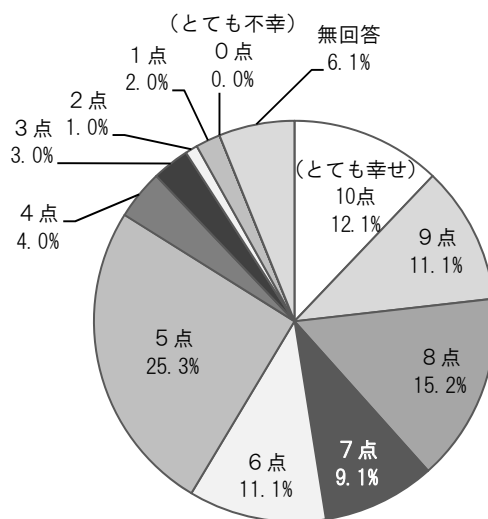


全体 n=99



全体 n=99

問7-(2) 現在どの程度幸せですか



全体 n=99



平均点数
6.7

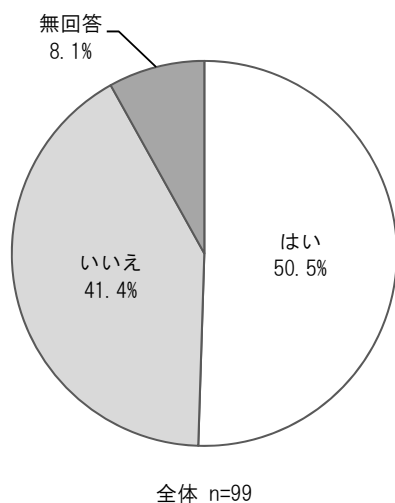
(6) 物忘れの状況

○チェックリスト該当者で物忘れが多いと感じると回答した方は、50.5%となっています。

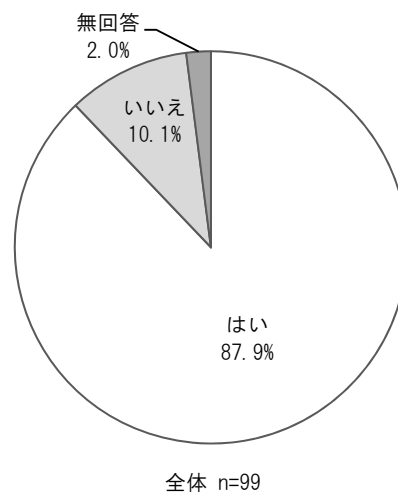
○自分で電話番号を調べて電話をかけないと回答した方は、10.1%となっています。

○今日が何月何日かわからない時があると回答した方は、41.4%となっています。

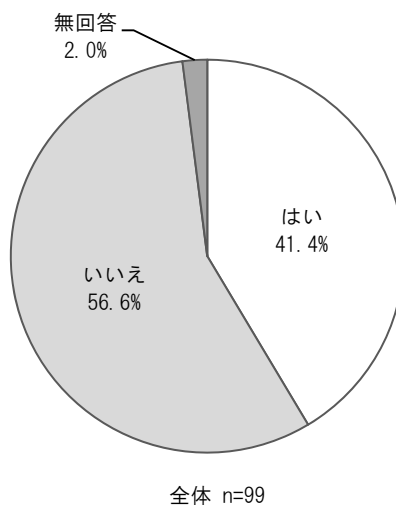
問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか

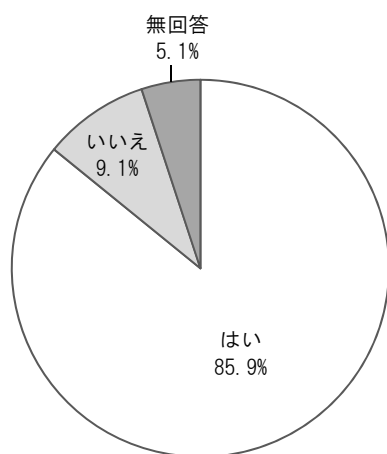


○チェックリスト該当者で5分前に自分が何をしていたか思い出せないと回答した方は、9.1%となっています。

○その日の活動を自分で判断できるかでは、「ほとんど判断できない」方は 2.0%となっています。

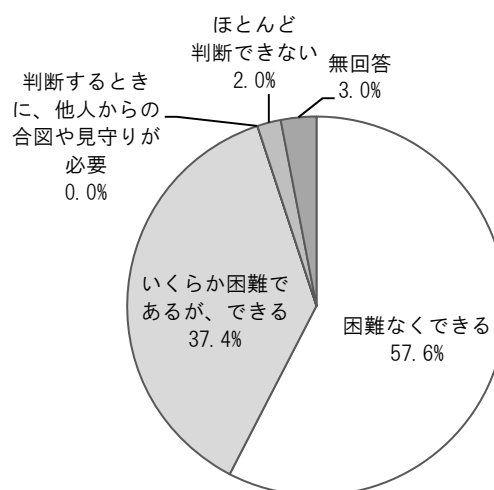
○人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」(12.1%)と「ほとんど伝えられない」(2.0%)を合わせた 14.1%の方がうまく伝えられていない状況です。

問 4-(19) 5分前に自分が何をしていたか
思い出せるか



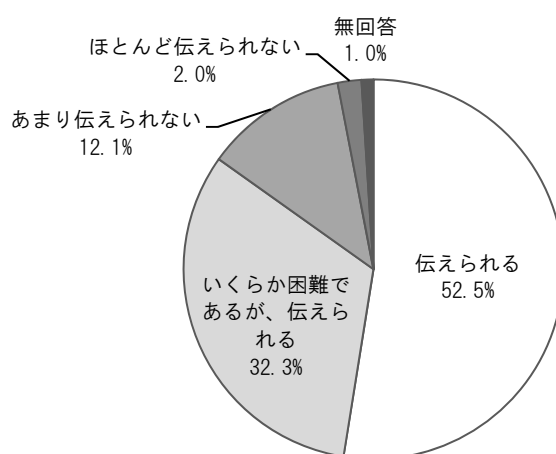
全体 n=99

問 4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



全体 n=99

問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

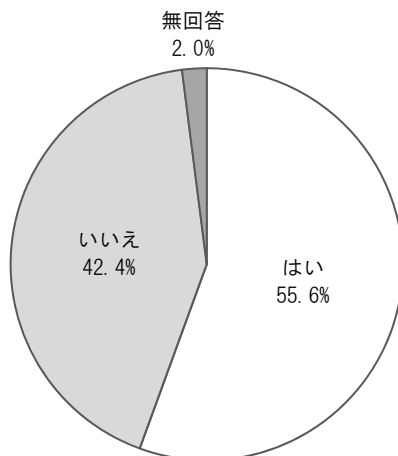


全体 n=99

(7) ゴミ出しの状況（市独自設問）

○チェックリスト該当者でゴミ出しができていないかをみると、42.4%の方ができていないと回答しています。

問4-(24) ゴミ出しができていないか



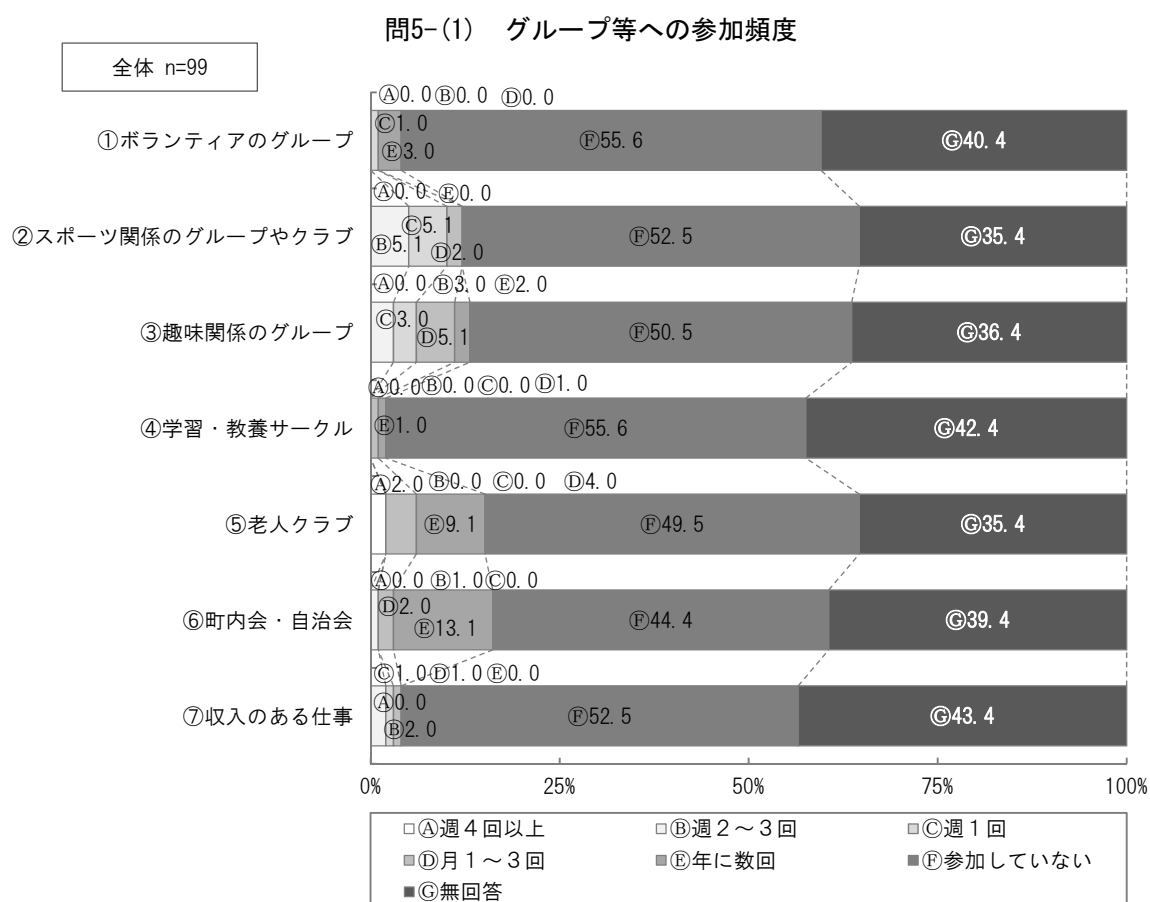
全体 n=99

5 地域での活動について

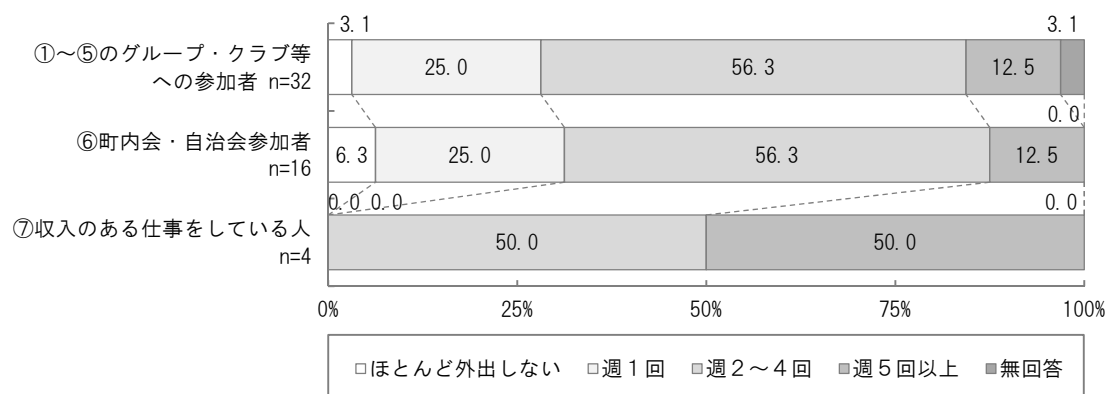
(1) グループ活動等の状況

○チェックリスト該当者の週1回以上の就労またはグループ等への参加頻度をみると、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(10.2%)、「③趣味関係のグループ」(6.0%)、「⑦収入のある仕事」(3.0%)となっています。

○また、グループ等への参加者の外出頻度では、いずれの参加者も週1回以下の方は約30%となっていますが、「⑦収入のある仕事」をしている人は半数の方が週5回以上外出している状況です。



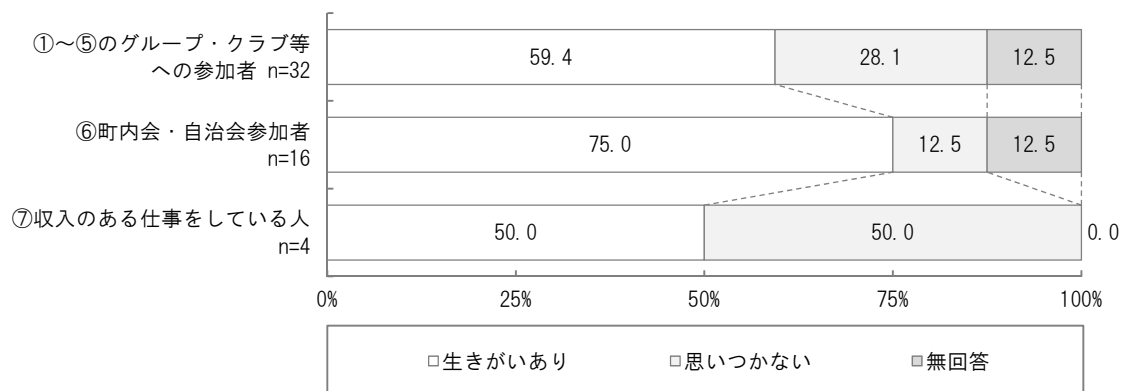
「問5-(1) グループ等への参加者」×「問2-(6) 外出頻度」



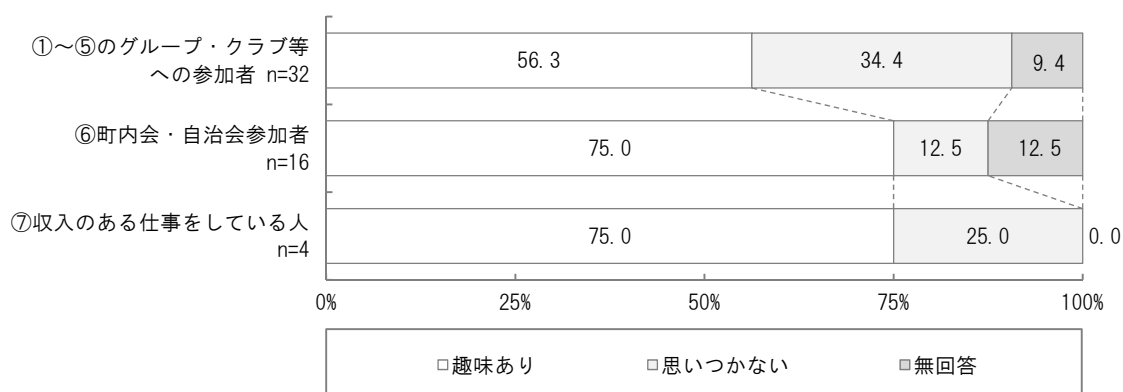
○チェックリスト該当者のグループ等への参加者で生きがいがあると回答した方は、5割以上となっています。

○グループ等への参加者で趣味があると回答した方は、5割以上となっています。

「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味の有無」



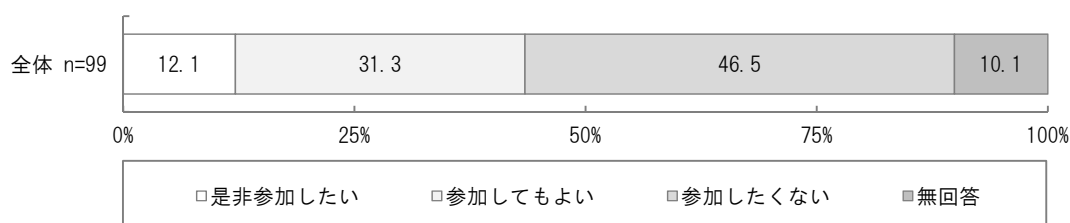
(2) 地域づくりに対する参加意向

○チェックリスト該当者の参加者としてグループ活動等への参加意向をみると、「是非参加したい」(12.1%)と「参加してもよい」(31.3%)を合わせた43.4%の方が参加の意向です。

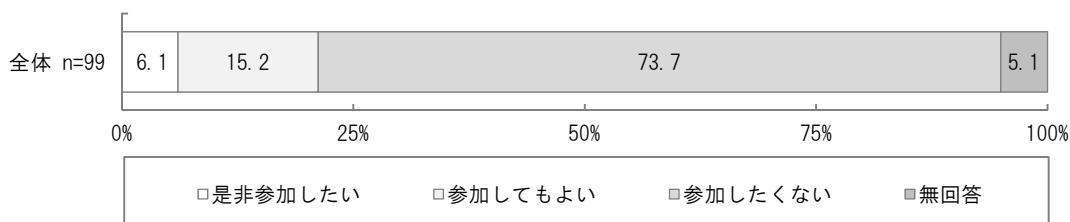
○企画・運営としてグループ活動等への参加意向をみると、「是非参加したい」(6.1%)と「参加してもよい」(15.2%)を合わせた21.3%の方が参加の意向です。一方、「参加したくない」は、半数以上を占めています。

○グループ活動等および企画・運営への参加希望者の健康感をみると、両者とも「まあ健康」と回答した方が半数を超えています。なお、「とても健康」では後者が2.5^{ポイント}上回っています。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか

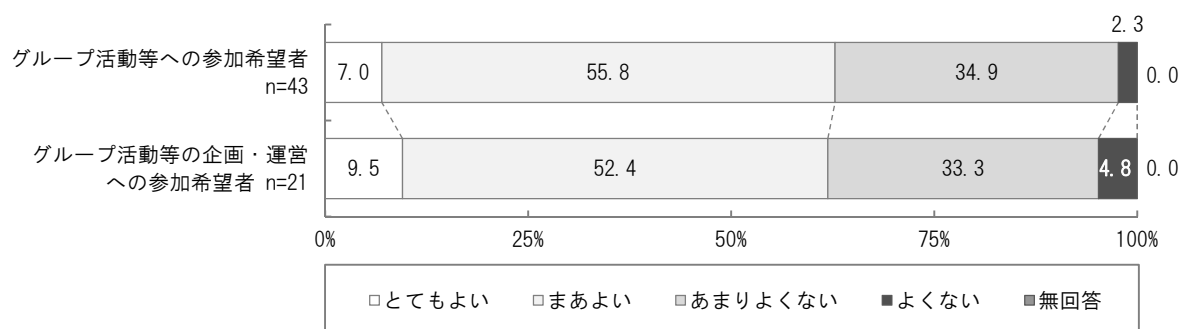


問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問7-(1) 主観的健康感」

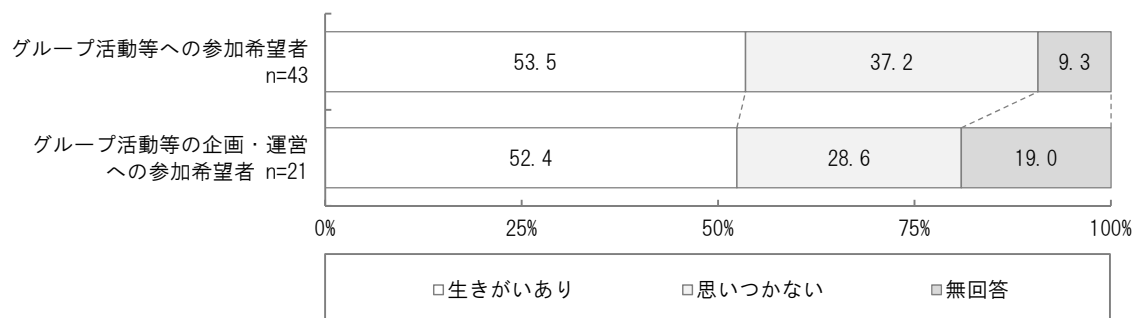


○チェックリスト該当者のグループ活動等および企画・運営への参加希望者の生きがいの有無では、「生きがいあり」では前者が53.5%、後者が52.4%となり、前者が1.1^{ポイント}上回っています。

○グループ活動等および企画・運営への参加希望者の趣味の有無では、「趣味あり」では前者が58.1%、後者が52.4%となり前者が5.7^{ポイント}上回っています。

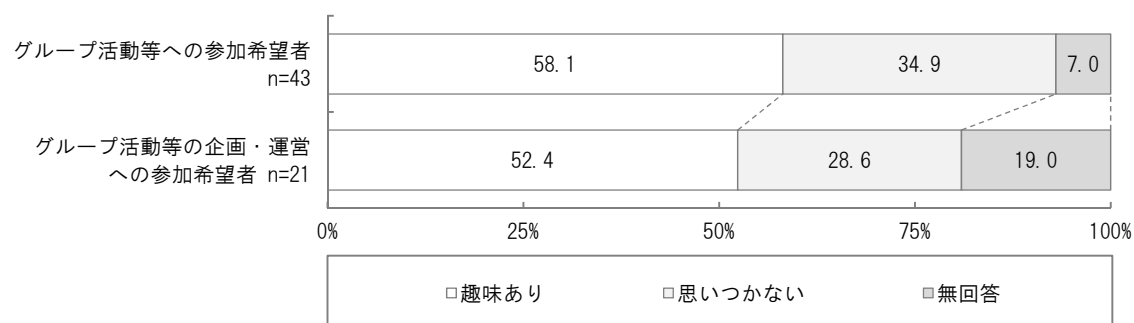
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

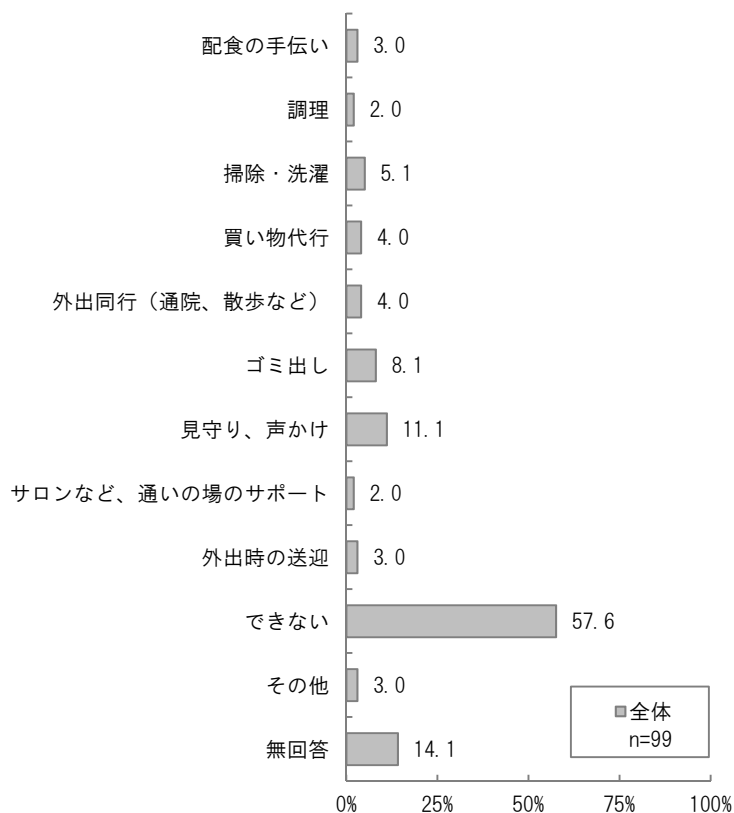
× 「問4-(17) 趣味の有無」



（３）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの

○チェックリスト該当者の地域でできる支援をみると、「見守り、声かけ」（11.1％）が最も高く、次いで「ゴミ出し」（8.1％）、「掃除・洗濯」（5.1％）、「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」（各 4.0％）、「配食の手伝い」「外出時の送迎」（各 3.0％）、「調理」「サロンなど、通いの場のサポート」（各 2.0％）の順となっています。一方、「できない」方は57.6％となっています。

問5-（４） 地域でできる支援内容

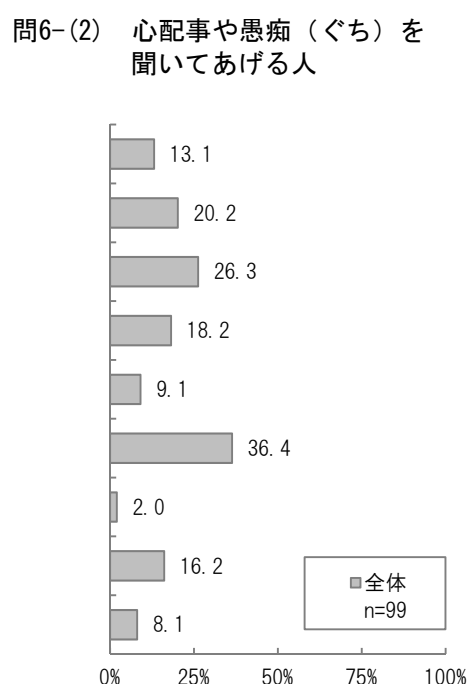
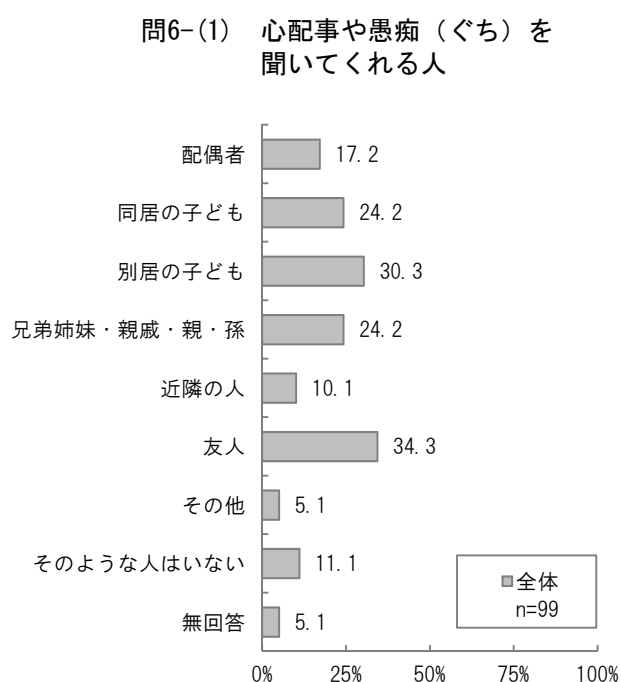


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

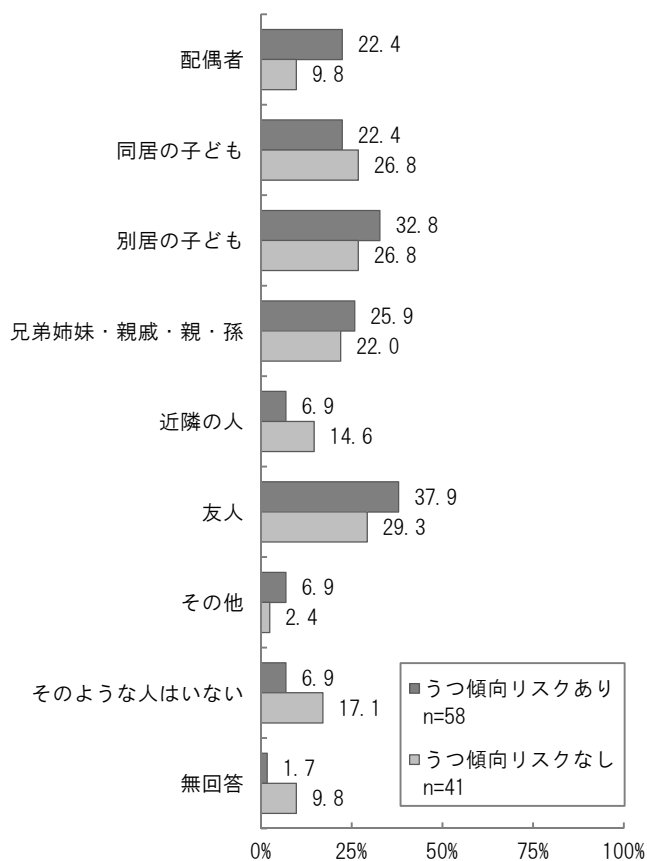
○チェックリスト該当者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「友人」（34.3%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（30.3%）、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（各 24.2%）、「配偶者」（17.2%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は 11.1%となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「友人」（36.4%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（26.3%）、「同居の子ども」（20.2%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（18.2%）、「配偶者」（13.1%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は 16.2%となっています。



○チェックリスト該当者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクのあり・なし別にみると、両者ともに「友人」（37.9%・29.3%）が最も高く、次いで前者では「別居の子ども」（32.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（25.9%）、「配偶者」「同居の子ども」（各 22.4%）を順に挙げ、後者では「同居の子ども」「別居の子ども」（各 26.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（22.0%）を順に挙げています。一方、「そのような人はいない」と回答した方は前者が 6.9%、後者が 17.1%と後者が 10.2^{ポイント}上回っています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスク有無」

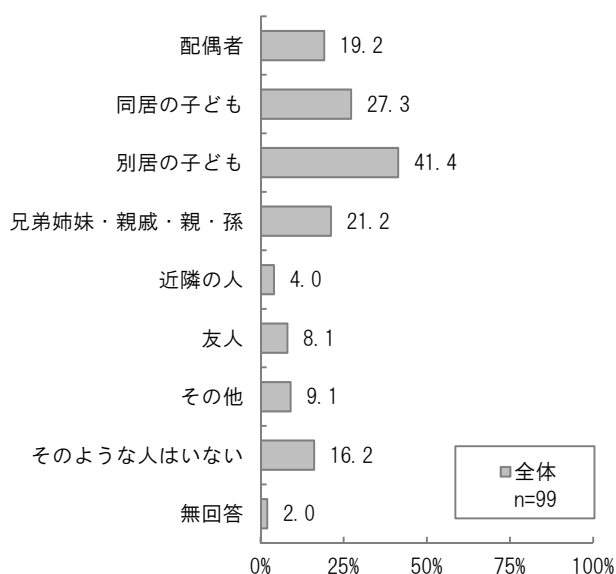


○チェックリスト該当者の病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「別居の子ども」(41.4%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(27.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.2%)、「配偶者」(19.2%)の順となっています。

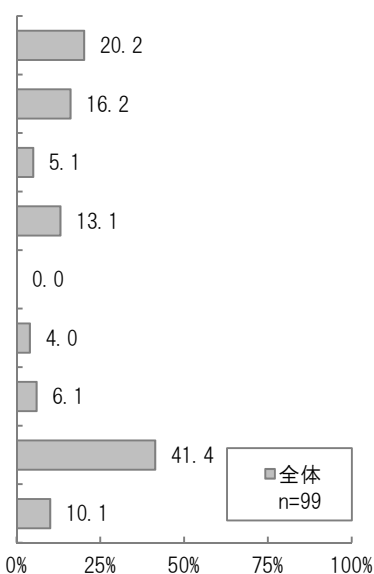
○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(20.2%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(16.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.1%)、「別居の子ども」(5.1%)の順となっています。

○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」(42.4%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(41.4%)、「社会福祉協議会・民生委員」(24.2%)、「医師・歯科医師・看護師」(16.2%)の順となっています。また、「そのような人はいない」と回答した方は14.1%となっています。

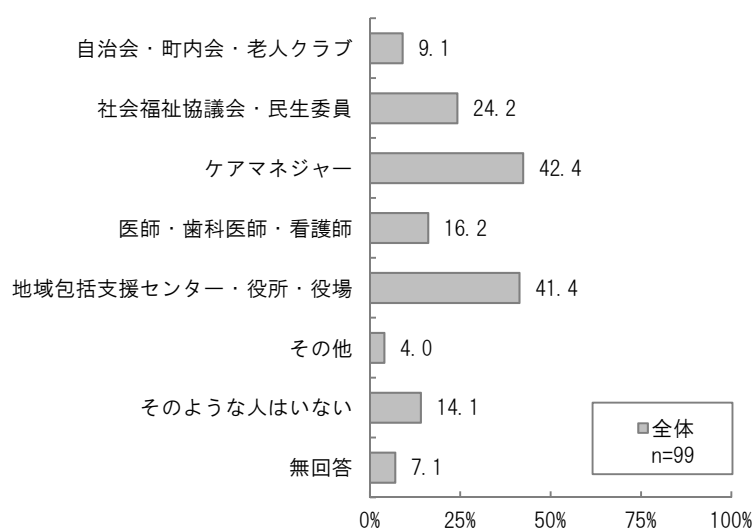
問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、
看病や世話をしてくれる人



問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



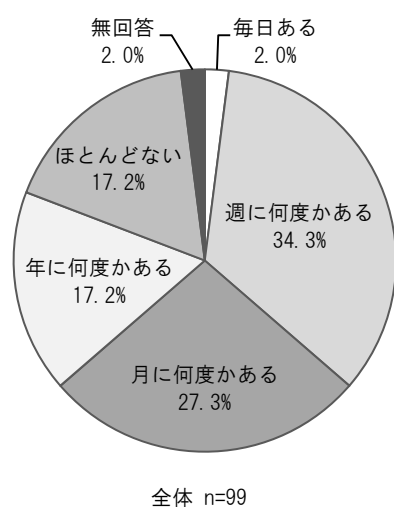
(2) 友人・知人との交流状況

○チェックリスト該当者の友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(34.3%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(27.3%)となっています。

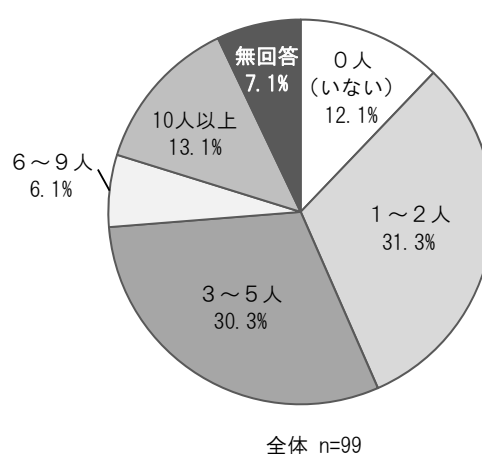
○1か月間に会う友人・知人の人数をみると、「1～2人」(31.3%)が最も高く、次いで「3～5人」(30.3%)となっています。

○よく会う友人・知人との関係をみると、「近所・同じ地域の人」(59.6%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(21.2%)、「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」(各13.1%)、「幼なじみ」(9.1%)の順となっています。

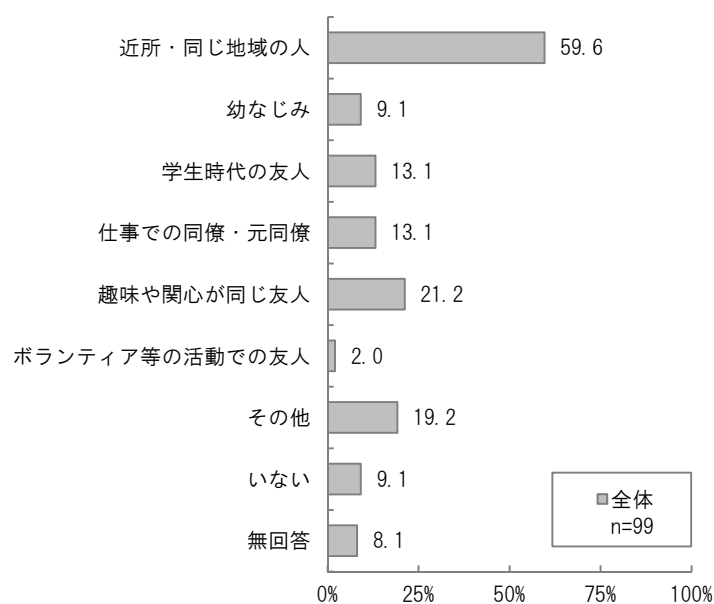
問 6-(6) 友人・知人と会う頻度



問 6-(7) 何人の友人・知人と会ったか
(最近1か月間)



問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

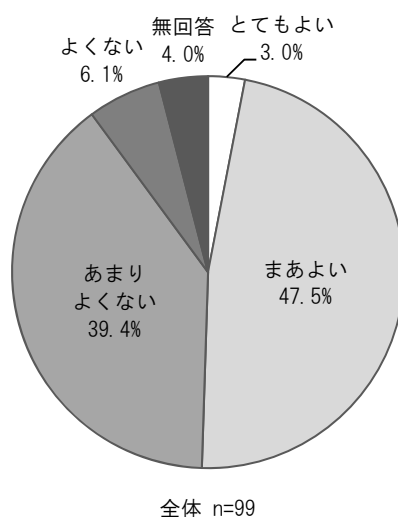


7 健康について

(1) 健康状態

○チェックリスト該当者の現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(47.5%)が最も高く、「とてもよい」(3.0%)を合わせた50.5%の方が健康であると感じています。

問7-(1) 現在の健康状態はいかがですか

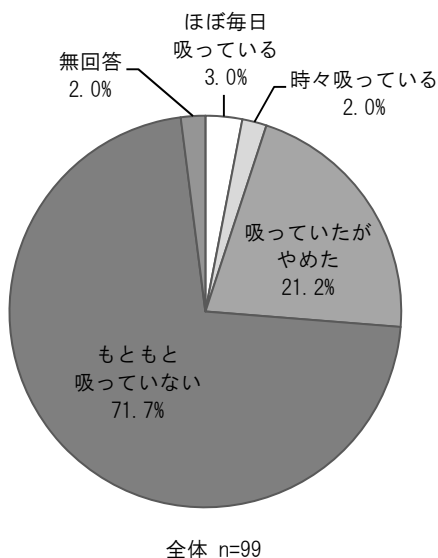


(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

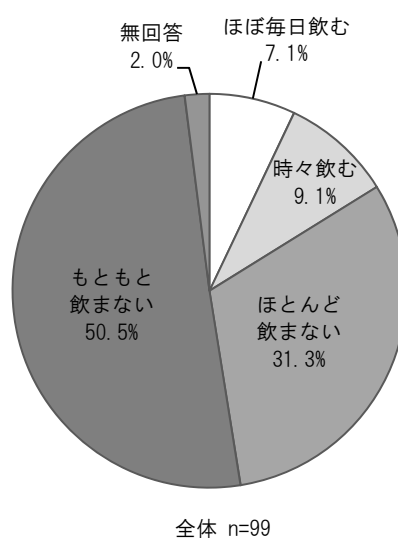
○チェックリスト該当者の喫煙有無では、「ほぼ毎日吸っている」(3.0%)と「時々吸っている」(2.0%)を合わせた5.0%の方が喫煙しています。

○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(7.1%)と「時々飲む」(9.1%)を合わせた16.2%の方が飲酒しています。

問7-(5) 喫煙の有無

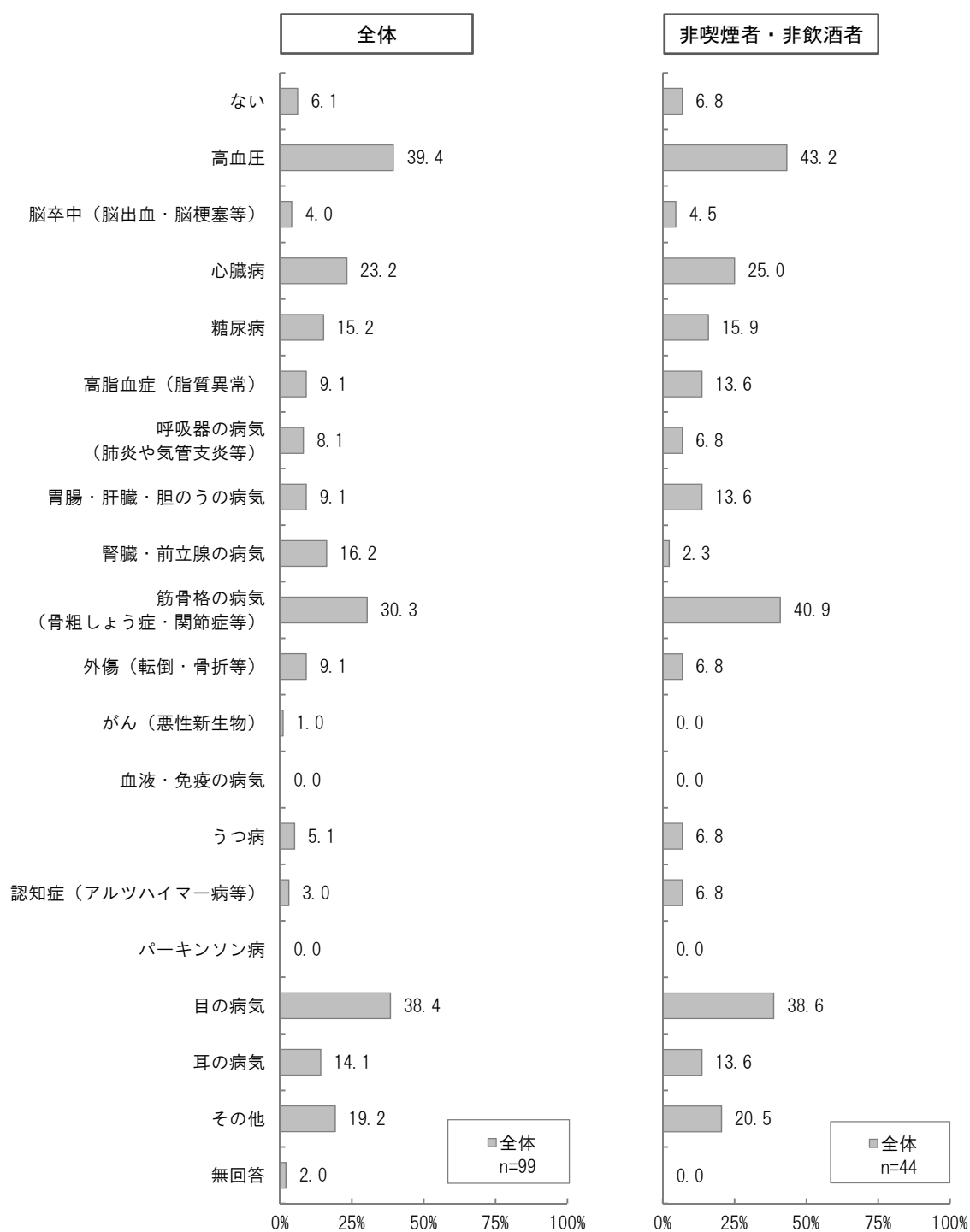


問7-(7) 飲酒の有無



○チェックリスト該当者の現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、全体では「高血圧」(39.4%)が最も高く、次いで「目の病気」(38.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(30.3%)、「心臓病」(23.2%)、「腎臓・前立腺の病気」(16.2%)の順となっています。非喫煙者・非飲酒者と比較すると「高血圧」(43.2%)は前者より3.8ポイント上回っています。

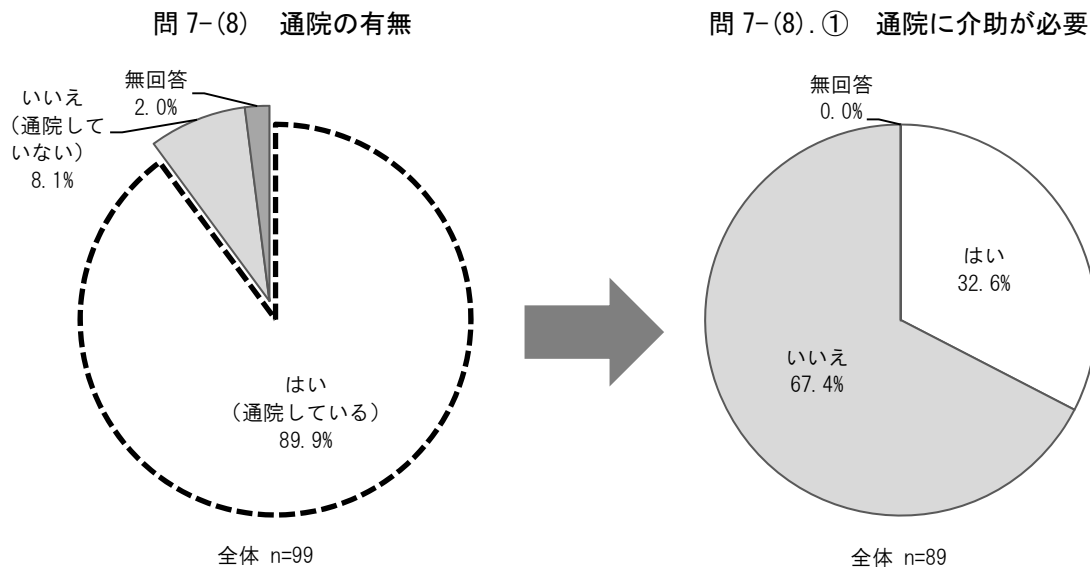
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気の有無



(3) 通院の状況

○チェックリスト該当者の通院の有無では、89.9%の方が通院していると回答しています。

○通院に介助が必要かでは、32.6%の方が「はい」と回答しています。



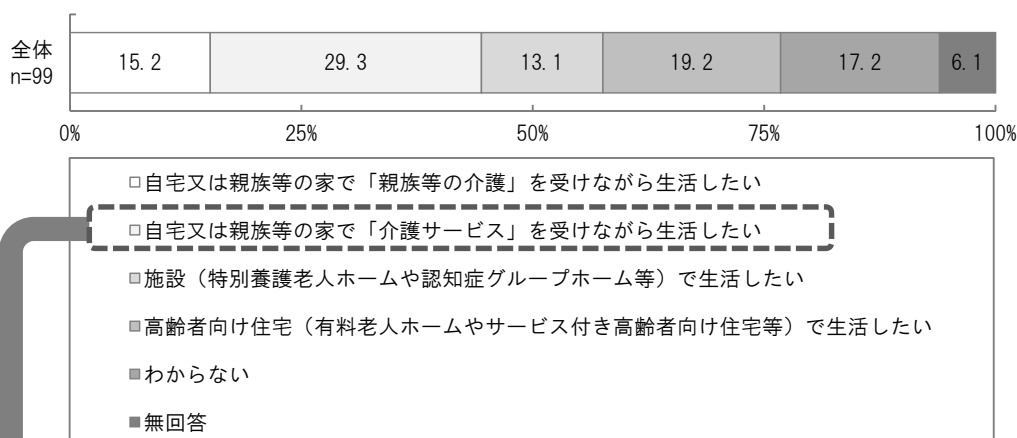
8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 生活場所やサービス利用の意向

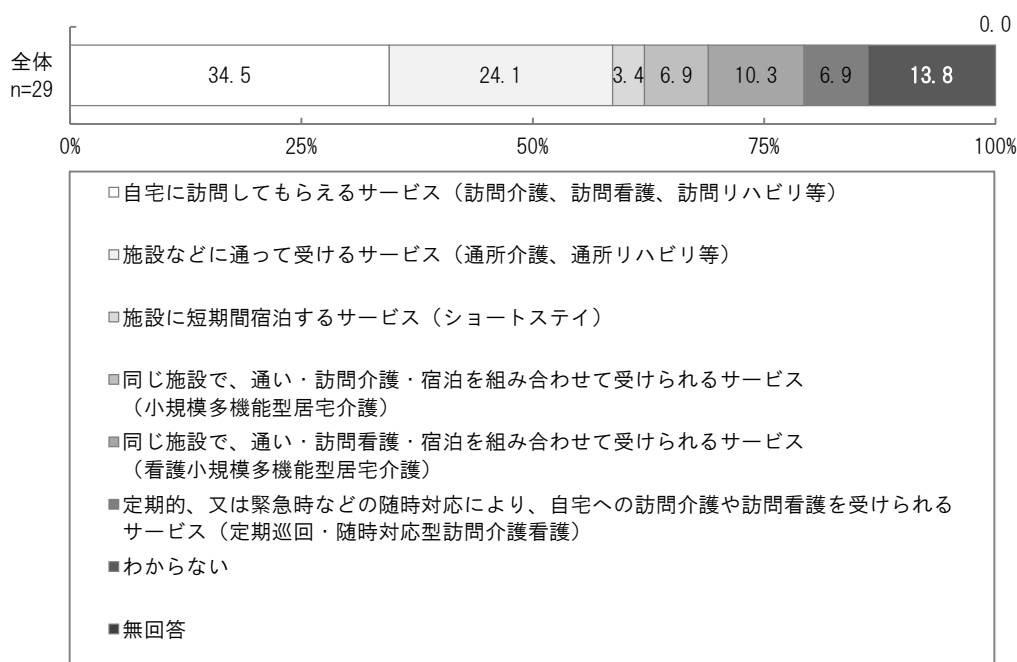
○チェックリスト該当者は介護が必要になった場合、どこで生活をしたいかをみると、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(29.3%)が最も高くなっています。

○また、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」と回答した方が受けた介護サービスは、「自宅に訪問してもらえるサービス（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等）」(34.5%)が最も高く、次いで「施設などに通って受けるサービス（通所介護、通所リハビリ等）」(24.1%)、「同じ施設で、通い・訪問看護・宿泊を組み合わせ受けるサービス（看護小規模多機能型居宅介護）」(10.3%)の順となっています。

問8-(1) 介護が必要になった場合、どこで生活をしたいか



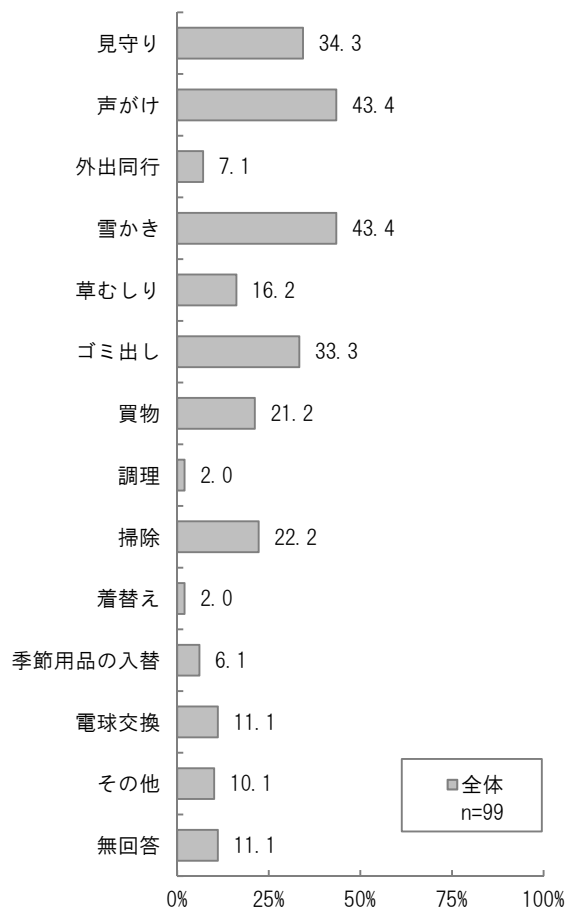
問8-(1).① どのような介護サービスを受けたいか



（２）近隣からの支援に望むこと

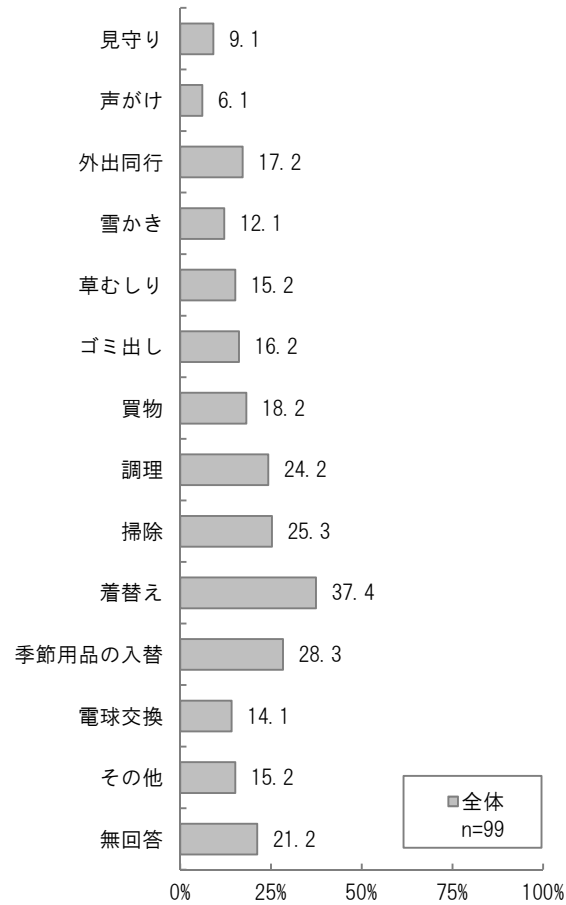
○チェックリスト該当者は介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいことは、「声がけ」「雪かき」(各 43.4%) が最も高く、次いで「見守り」(34.3%)、「ゴミ出し」(33.3%)、「掃除」(22.2%) の順となっています。

問8-(2) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいこと



○一方、近隣の人に頼みたくないことは、「着替え」(37.4%)が最も高く、次いで「季節用品の入替」(28.3%)、「掃除」(25.3%)、「調理」(24.2%)の順となっています。

問8-(3) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたくないこと



9 山形市の施策について

(1) 認知症予防への支援

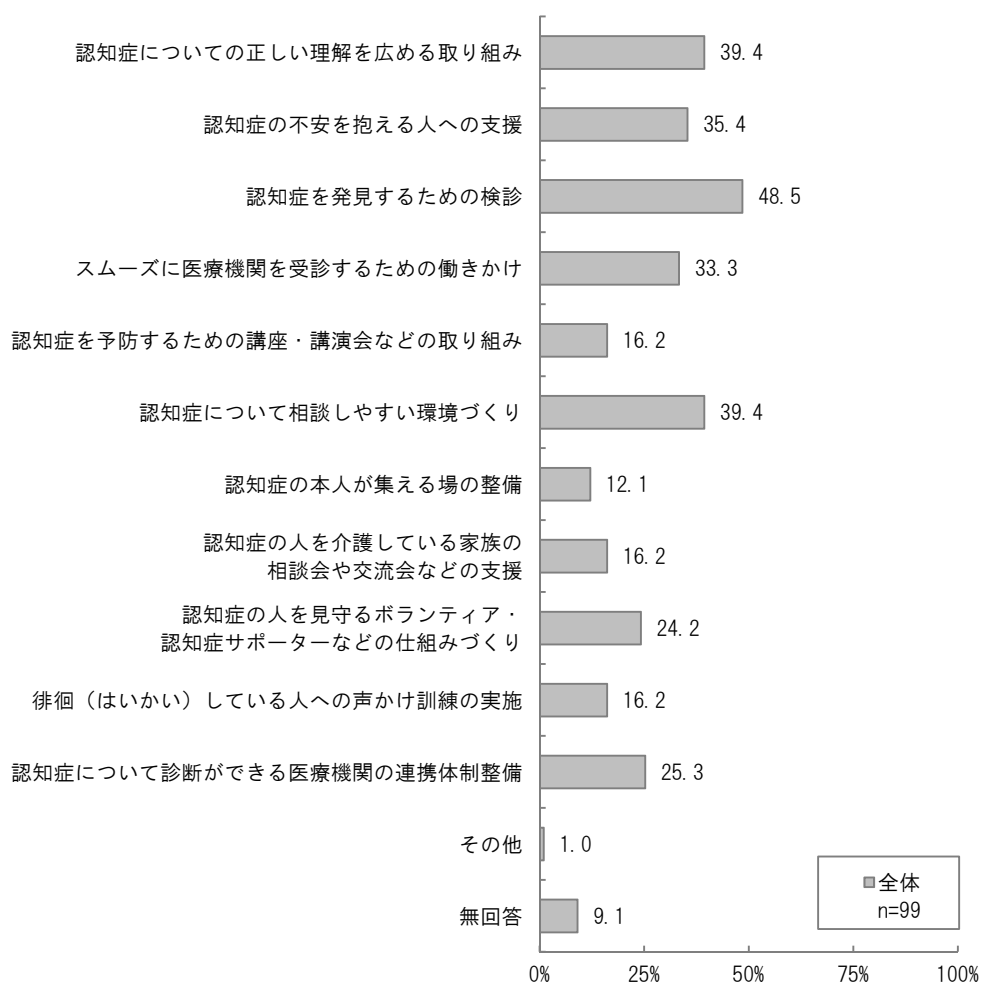
○チェックリスト該当者が認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところを見ると、「かかりつけ医」(55.6%) が最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(17.2%) となっています。

問9-(1) 認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところ

全体 n=4,454	回答者数	割合
かかりつけ医	55 人	55.6%
認知症サポート医	2 人	2.0%
認知症専門医（精神科・神経内科等）	9 人	9.1%
地域包括支援センター	8 人	8.1%
ケアマネジャー（介護支援専門員）	17 人	17.2%
民生委員・福祉協力員	3 人	3.0%
介護サービス事業者	1 人	1.0%
市役所などの行政機関	0 人	0.0%
認知症のひと家族の会	0 人	0.0%
認知症サポーター	0 人	0.0%
薬局	0 人	0.0%
その他	0 人	0.0%
無回答	4 人	4.0%

○認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきことは、「認知症を発見するための検診」(48.5%)が最も高く、次いで「認知症についての正しい理解を広める取り組み」「認知症について相談しやすい環境づくり」(各 39.4%)、「認知症の不安を抱える人への支援」(35.4%)、「スムーズに医療機関を受診するための働きかけ」(33.3%)の順となっています。

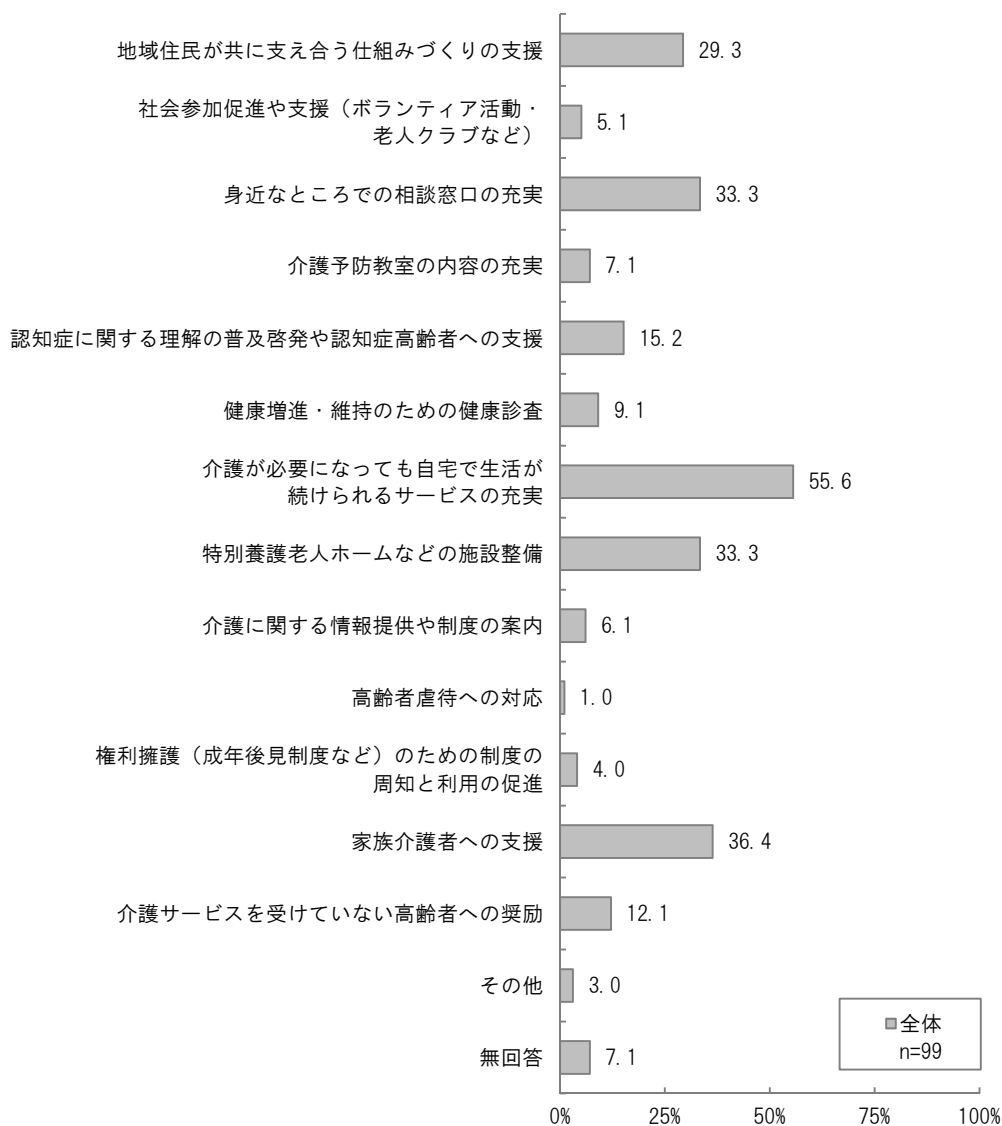
問9-(2) 認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきこと



（２）高齢者保健福祉への取組

○チェックリスト該当者の高齢者保健福祉について、市が取り組むべきことをみると、「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(55.6%)が最も高く、次いで「家族介護者への支援」(36.4%)、「身近なところでの相談窓口の充実」「特別養護老人ホームなどの施設整備」(各 33.3%)、「地域住民が共に支え合う仕組みづくりの支援」(29.3%)の順となっています。

問9-(3) 高齢者保健福祉について、市が取り組むべきこと

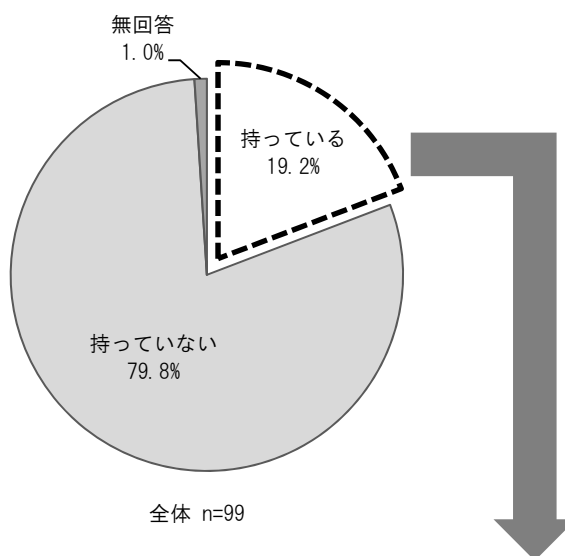


10 自動車の運転について

○チェックリスト該当者の自動車運転免許証の所持状況は、「持っている」方が 19.2%となっています。

○また、自動車の運転をやめたら日常生活で困ることをみると、「かかりつけ医への通院」（73.7%）が最も高く、次いで、「食品や日用品の買物」（68.4%）、「総合病院への通院」（47.4%）、「行政機関の手続き」（42.1%）の順となっています。

問10-(1) 自動車の運転免許証を持っているか



問10-(1).① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ること

